

The EIKO ALUMNI Vol.102

[発行日] 2024年10月15日
[発行人] 栄光学園同窓会 河原光博 (37期)
[編集・デザイン] 広報部 村井基彦 (37期) 川村真知 (37期)
[web] 事業部 大須賀喜彦 (39期)
[表紙写真] 事務局 飯野習一 (19期)
[印刷] 東湘印版株式会社
[発行] 栄光学園同窓会
〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1
Tel&Fax 0467-44-8875
e-mail: admin@eikoalumni.org



栄光学園同窓会 HP 
<https://www.eikoalumni.org/>



同窓会からの最新情報をお届けします。
栄光学園同窓会 Facebookページ 
<https://www.facebook.com/eikoalumni/>



EACON [名簿&コミュニティーサイト]
<https://eacon.alumnet.jp/>

The EIKO ALUMNI

歩く大会の変遷

contents

ご挨拶	2
[特集] 歩く大会の変遷	6
OBだより	10
学園だより	16
同窓会information	20

October 2024
Vol. 102

会長挨拶

この夏も各地に「スコール」と呼ぶのがふさわしい凄まじい豪雨や、梅雨のような長雨や猛暑日が北海道で観測する等、いくつも気候変動の影響を感じる出来事がありました。あらためて言うまでもありませんが、昨今の環境の変化を受け入れ、変化に合わせて自らが変わっていく姿勢が私たちに求められていると感じています。

新・事務局長に飯野習一さん(19期)が就任

さて、本年5月の総会をもって飯野習一さん(19期・元教員)が新たに事務局長に選任されました。皆さんご存じの通り、飯野さんは母校で40年以上の長きに渡り教鞭をとられ、お世話になった会員も数多くいます。飯野さんと共に、当会の活動を着実に前進させていきます。会員の皆さんのご支援を引き続きお願いいたします。

また、退任された前・事務局長の前山茂雄さん(13期)は2013年より11年に渡り事務局長を務められました。任期の前半は、会員名簿の大幅リニューアル(オンライン会員名簿EACON稼働、冊子版名簿の廃止)、学園70周年事業(校舎建替)の募金、学園70周年記念パーティー等の大きな事業が立て続けにやってきました。また2020年からのコロナ禍では、同窓会のリモート環境をいち早く整え、現在のハイブリッドな事業運営を実現いただく等、多大な貢献をいただきました。改めて心よりお礼申し上げます。

2024年度の取組

早いもので、会長に選任いただき1年が経ちました。同窓会執行部は1期2年ですので、本執行部の後半1年間は次代に向けた体制構築の年にしたいと考えています。今年度の取組は「会費納入方法等の変更」「会員情報の維持管理と利活用に向けた検討」の2点です。以下に簡単にご説明します。

会費納入方法等の変更

- ① 納入方法 … 「銀行口座からの自動振替」「同窓会銀行口座への振込」の2種類とします。なお、コンビニ払は廃止します。(手数料・事務負担は高いが納入率向上に寄与せず) 会員の納入負担・事務局の事務負担の観点から、原則「銀行口座からの自動振替」への移行をおすすめします。
- ② 納入サイクル … これまで4年に一回10,000円を請求していましたが、今年度以降、毎年1回2,500円の請求に変更します。(「銀行口座からの自動振替」は既に毎年2,500円の振替)
- ③ 会費納入状況をEACON上で個別開示 … 会員本人が自身

の会費納入状況をEACON上で確認できるようになります。なお、会費は75歳までとなっていますが、諸先輩方より「会費を引き続き支払いたい」というありがたいお言葉を多数いただいていることもあり、ご厚志をお受けする受け皿として「特別会費」制度を設けます。会費はあくまで75歳までではありませんが、会員本人よりご希望があった場合、原則「銀行口座からの自動振替」を継続させていただくこととします。(秋以降、75歳以上の会員の皆さまに別途ご案内します) また、事務局体制の変更にあわせ、会費管理の事務体制を見直していきます。

会員情報の維持管理と利活用に向けた検討

冊子版の名簿を廃止し、オンライン会員名簿EACONに移行したのは2014年でした。10年経過した今、EACONは度重なるレベルアップで利便性が高まり、冊子版では実現できなかった様々な価値を体感できるようになりました。特にスマートフォン上でEACONの検索機能を駆使し、ビジネスで活用する会員が増えているのは嬉しい限りです。しかしながら、直近10年の卒業生を中心に、会員情報(特に勤務先・進学先)が空欄の会員が増えているという新たな課題に直面しています。そこで会員情報の維持管理、そして情報の利活用に向け、若手会員を中心としたワーキンググループを組成。トライ&エラーで検討・実行・検証を繰り返し、「同窓会の最大の資産」ともいえる会員情報のレベルアップを図っていきます。

栄光学園同窓会も、1期から72期まで12,000人を超える組織となりました。母校栄光学園という大切なバックグラウンドを共有する私たちですが、年代や社会環境等の違いから、会員一人ひとりの価値観や考え方に違いがあるのも事実です。当会も、こうした変化を受け入れ、変化に合わせて自らを変化させていく、そんな時期が来ているのかもしれません。会員の皆さん一人ひとりのご理解とご協力を、引き続きよろしく願いいたします。



栄光学園同窓会会長 河原光博(37期)

栄光学園から

本年度より副校長を務めます葛西一仁です。大船に校舎が移転して今年で60周年です。新しい校舎になってからは7年ほど経ちました。私が知っているのは栄光学園の歴史のうち30年ほどですが、その間に変わったこともあり、以前と同じ様子であることもあります。

生徒の休み時間の楽しみ方

休み時間に生徒たちが黒板いっぱいにはたき書きをするのも、外でギリギリまで遊んで教室にかけ込み、授業への遅刻で「入室許可証」を取りに行かされるのも、かつてと変わらない様子です。

休み時間に関して、現在の校舎になっても変わらず引き継がれているのが「ハンドテニス」と「プラスチックバット野球」(略称プラバ)です。ハンドテニスで盛り上がる姿は相変わらずですが、プラバについては新校舎になったあとでは形式が変わっています。

かつてはダイヤモンドを想定した、チーム同士の対戦だったと記憶していますが、現在はバッティングセンター式。投手と打者が向き合い、その対戦の列が校庭の南北にいくつも並びます。ピッチャーは1球ごとに交代し、バッターも入れ替わりながら行います。

校舎が2階建てのため、屋根を越える「ホームラン」がしばしば打ち上げられ、屋根の上に乗って戻ってこないボールは校務の方が頻繁に回収します。その数は一度に数十に上り、学年ごとの回収箱に返却されるのですが、中1、中2の箱はボールで山盛りになってあふれるほどです。(この2つの学年の回収箱は他の学年の2倍、容量90リットルの段ボール箱です。)

栄光の高い空の下、緑に囲まれたキャンパスで、生徒はかつて今も、外に出て遊びます。これは変わらない伝統です。もしかすると2階建ての校舎だからこそ、現在は以前にもまして外に出やすくなっているかもしれません。体を動かし、心を開いて仲間と遊ぶ。そのことに大きな意味があると思います。栄光の力の源なのではないでしょうか。

新校舎の職員室が産む生徒と先生の距離感

変わらぬことをもう一つ挙げると、生徒と教員の距離感が近いことがあります。新校舎の職員室がこの距離感を産む良い場所になっています。大船の旧校舎時代の職員室は、隣に中2と高2の教室があり、窓からはフィールド全体が見えました。現在は生徒の教室から離れたましたが、大きなガラス窓から中2、高2の教室の動きがよく見え、あいだにある中校庭を見下ろせる位置にあります。

職員室が教室から多少離れたとはいえ、教室棟と職員室棟は渡り廊下ですぐにアクセスできます。職員室の一部が通路になっ

ていて、生徒は用事がなくてもいつでも入って来られます。この風通しの良さから、生徒の中には、毎時間のように職員室を訪れて質問をしたり談笑したりする者がいます。教師と生徒が語り合う場としての職員室は、栄光の魅力と力の一端であることは間違いありません。

加えて言うと、栄光学園のコンパクトさ、すなわち学年4クラスの編成は教員1人で学年全クラスを担当できるサイズ。これも教員と生徒の近さを実現する仕掛けとなっており、栄光を動かす力です。

100期生が入学する日はもう遠くない

私は1995年から栄光学園に勤めています。その年に49期中1を担当し、これまで合計で13の「期」を担当しました。授業を通じて合計で2300人を超える生徒たちと直接教室で関わってきたことになります。さらに部活動では、バスケットボール、野球、バレー、ソフトテニス、体操・ダブルダッチの顧問を経験してきました。多くの皆さんとの出会いをいただき、この密度の濃いキャンパスの中で過ごして来られました。

将来のことを想像すると、今年度卒業する73期あたりの息子さん、100期生として入学する日もそう遠くないことに思われます。

変わりゆく時代の中で、かつてから栄光が持つ良さを引き継ぎつつ、この小さいながらも密な教育現場がいつそう豊かなものになっていくことを望みます。ただし小さいがゆえにその体力に限界があることもあります。皆様のご支援を賜りつつ、栄光学園が新しい時代を迎えてゆけるように祈っております。



栄光学園副校長 葛西一仁

まずは払いやすく！同窓会費

財務検討特別委員会の報告から

2022年10月に発足した「財務検討特別委員会」では、現在の収支状況を踏まえた今後の同窓会事業と会費の在り方・会費納入率向上策を検討し、検討を踏まえた具体策を実施することになりました。ご理解とご協力(会費納入含む)のほど、よろしくお願いいたします。

	同窓会費納入の色々大作戦	これまでとこれからの課題点
① 納入金額を 確認しましょう	<p>New 自分の新年度請求額(未納額含む)と登録済みの納入方法が、EACONマイページで確認可能になります。まずは、自分の納入額と納入状況を把握しましょう。(2024年10月ごろリリース予定)</p> <p>New 振込でも、引落しでも、毎年2,500円を納入 (=4年に1度10,000円を納入する制度を廃止しました)</p> <p>New 75歳超の会員でも、会費納入のご意思があれば、口座引落し or 振込で会費納入をお受けできます。(あくまで任意です)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員自身が会費納入の有無について確認する手段がない ・ 未納入のまま放置される原因のひとつでは？ ・ 会員自身の会費納入状況を確認できる仕組みを構築することが重要
② 納入手段・方法を 決めましょう	<p>★ 会費の支払い方法は ①か② (新設)の2択です</p> <p>① 会員の銀行口座からの口座引落し ←推奨</p> <p>② New 同窓会口座への振込 ←ネットバンクにも対応</p> <p>★★ 口座引落とし登録の勧め ★★ 口座引落としに移行の場合、過年度未納分の納入は不問</p> <p>★ 口座引落としへの移行希望者は、同窓会にメール・電話で口座引落とし希望の旨を伝える→口座振替依頼書作成など→手続き完了</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会費の納入手段は下記の2択 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年2,500円を口座引落し ・ 4年に1度、10,000円をコンビニ払い ・ オンライン(ネットバンク等)での納入に対応することが課題 ・ コンビニ払いは納入率アップに繋がらず、実務負担が掛かり手数料も安くなかった
③ 払いましょう	<p>★ ①口座引落しでも、②振込でも、会費は毎年2,500円です</p> <p>①の場合、登録口座から同窓会に年会費が自動的に引き落とされます。</p> <p>②の場合、EACONマイページの請求額を確認し、請求額を同窓会の口座に振り込まず</p> <p>★ 納付確認後、EACONマイページに、納入状況が反映されます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 払込用紙払いは、期ごとに4つのグループに分け4年に1度、10,000円納入する制度 ・ 約30年間続く仕組みで一定の合理性 ・ 4年に1度(但し、未納者には毎年)の請求のために、会員の会費納入状況が細分化し、管理事務が膨大かつ複雑化 ・ 安定的な収入確保、及び振込忘れ最小化のため、口座引落し率を高めることが重要 ・ 4グループ制導入時と比較して会員数が倍増(現1.2万人超)で、事務作業量も倍増 ・ 「4年に1回」→「毎年」で同窓会と良い距離感を
④ 事務負担を減らそう	<p>New EACONマイページに、会費の請求情報、納付情報を掲載</p> <p>★ 年度の請求額をEACONのマイページに反映させる手順のシステム化で事務負担の軽減と、納入状況確認の対応事務の軽減</p> <p>★ 引落としデータ及び振込データを簡便にEACONに取り込めるようシステム化することにより、実務負担を軽減</p> <p>★ 納入額別、個人別の振込依頼書の作成、個別封入手続きの事務作業の大幅低減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納入状況管理のシンプル化やシステム化 ・ 振込のアクションを促す仕組み・仕掛け ・ 各自のEACONの活用で、会員各自が事務負担軽減に貢献していることを実感するには
⑤ 会費の使われ方を 確認しましょう	<p>★ アラムナイでは春号では総会議案書(案)の中で、秋号では定期総会報告の中で、予算案・決算案が記載されています</p> <p>★ 同窓会HPでは、同窓会概要>総会 で各年度の総会の議案書・議事録を閲覧・ダウンロードいただけます</p> <p>★ 同窓会費がどう使われているのか、是非、確認してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2,500円/年という会費の金額は1986年から変更されていない ・ 物価の変動や会員増に伴う同窓会活動の拡大等に伴う適正な会費水準は検討が必要 ・ まずは納入率の改善を最優先 ・ 同窓会の各種イベントや各期の同期会等で、未納らしい方には納入を、振込の方には引落としへの移行を呼びかけましょう

近藤亮介(45期)財務検討委員会委員長&財務部長に聞く

どうなる？ 2024年度以降のキャッシュフロー

表1 今後4年間の会費収入予想

(単位:人、千円)

	2024年	2025年	2026年	2027年	合計
口座引落とし人数	2,680	2,680	2,680	2,680	
振込人数	220	460	1,000	1,220	
合計人数	2,900	3,140	3,680	3,900	
納入額	8,460	8,770	9,700	10,360	37,290
卒業期前受	2,275	2,275	2,275	2,275	9,100
合計	10,735	11,045	11,975	12,635	46,390
過去4年間(2019-2022年)会費収入合計					50,522
4年間の減収予想額					▲4,132

Q 今回、同窓会費の納入方法が大きく変わりましたが、同窓会のキャッシュフローの見通しを教えてください。

近藤 右の表1をご覧ください。会費納入方法の変更により前受収入がなくなるので、納入率が横ばいで推移したとしても以下の通り4年間で4百万円程度の減収(前受金、剰余金で充当予定)を見込んでいます。4グループ制の前受期のずれが解消される2028年以降は平準化する見込みです。

Q 納入率が横ばいで推移“したとしても”…がすこしひっかかりますが…

近藤 まずは、今まで4年に1度きちつと納入してくれていた方には、毎年の納入の継続に、ご理解とご協力を強くお願いしたいです。キャッシュフローはその前提で作成しています。

Q 表1の2027年での納入者の合計予測は3,900人。現役の同窓生(卒業後～75歳まで)の約1万人の40%弱です。強気？弱気？

近藤 まずは、現役世代で1学年に2人、「やっぱり同窓会費、払おうかな」と未納者→納入者になっていただけのだけで、年間250千円も財政が安定します。表2をご覧ください。現状で納入率が40%を下回っている期(自分の期も…)の、伸びしろを信じます。

表2:期別の会費納入率およびその推移(注1)

期	2023年	2016年	2002年	期	2023年	2016年	2002年	期	2023年	2016年
1	68%	73%	73%	26	55%	47%	53%	51	34%	28%
2	85%	87%	70%	27	63%	58%	55%	52	35%	29%
3	83%	82%	79%	28	42%	35%	50%	53	37%	39%
4	73%	73%	71%	29	55%	49%	58%	54	42%	43%
5	76%	76%	58%	30	48%	48%	50%	55	31%	34%
6	72%	72%	59%	31	46%	42%	55%	56	37%	28%
7	77%	76%	66%	32	49%	40%	47%	57	32%	37%
8	67%	67%	62%	33	53%	45%	50%	58	30%	32%
9	72%	69%	62%	34	47%	39%	55%	59	22%	33%
10	72%	72%	57%	35	26%	28%	33%	60	32%	24%
11	70%	55%	61%	36	40%	30%	23%	61	25%	100%
12	71%	62%	54%	37	38%	37%	28%	62	35%	100%
13	71%	58%	59%	38	25%	26%	46%	63	19%	100%
14	67%	56%	51%	39	34%	33%	46%	64	40%	100%
15	57%	55%	46%	40	35%	26%	68%	65	39%	
16	63%	61%	60%	41	34%	29%	30%	66	31%	
17	49%	47%	49%	42	29%	26%	64%	67	27%	
18	53%	51%	51%	43	32%	30%	62%	68	99%	
19	56%	49%	54%	44	24%	17%	52%	69	100%	
20	59%	56%	55%	45	37%	34%	43%	70	100%	
21	59%	59%	62%	46	37%	35%	100%	71	100%	
22	60%	60%	62%	47	33%	31%	100%			
23	52%	46%	53%	48	29%	22%	100%			
24	59%	52%	57%	49	24%	29%	100%			
25	51%	49%	53%	50	37%	37%				

注1) 青地の部分は会費免除対象期のため、納入最終年度の納入人数を元に算出している。また、2002年の46～49期、2016年の61～64期、2023年の68～71期については、在学時の積立金から4年分の会費を卒業時に一括納入しているため、納入率100%となっている。

どうやるの？EACONで会費納入状況確認の仕方

Q 今回、EACONで会費納入状況が見られるとのことですが、具体的にはどうすればいいのですか？

近藤 EACONに入っていたら、「会費機能」のタグが新規に表示されるようになる予定です。図は開発中のものです。このアラムナイが届くときには、リリースされているはずですよ。

Q 執行部、現在奮闘中ということですね。楽しみに待ちます。

EACONに入れなくても会費納入はできますよね？



開発中のEACONのページ。乞うご期待 ▲

近藤 もちろんできます。ただ、その質問をする人は未納状態かもしれないです。「未納かも？」ということであれば、あんまり迷わずに、口座振替を申し出てください。一番確実で、財務部、事務局としてはありがたいです。左のページにもありますように、口座振替への移行で、「未納分は不問」になりますので、お申し出された方も含めて、三方良しです。EACON上には、引落しになっているか振込かになっているかも表示される予定です。

年会費2,500円で本当に大丈夫？

Q 年間2,500円の会費については、納入率が維持されれば当面は大丈夫そうでしょうか？

近藤 そうですね。30年前は会員数も、現役世代人数も右肩上がりでしたが、今は、現役世代の人数はほぼ一定です。物価上昇を考えると、納入率によらず、検討は始めないといけないと思います。納入率が上がれば、時間と財政の両面で余裕ができます。

Q 当面は納入率の改善につながる活動で還元ですね？

近藤 同窓会はしばらく離れていた会員でも、肩肘張らず戻って来られる暖かい「家」として、70年以上の幅広い世代を繋ぐアンカーとしての役割を将来も果たし続けられる「持続可能な組織」であるべきと考えています。OBフォーラムをはじめとする各種イベントの企画や、同窓会報「THE EIKO ALUMNI」のさらなる充実に加え、会員名簿であるEACONのデータ管理の強化に力を入れていく予定です。

Q 近藤さんらしい、ドストレートな回答ですね。この同窓会誌も、8,000部以上が送付されて、お手元には届いているはずですよ。ここまで、本誌に目を通していただけた方に一言お願いします。

近藤 会費納入へのご協力を重ねてお願いする次第です。

歩く大会の変遷

1949年2月、田浦時代に始まった「競歩会」は、その後「強歩会」「歩く大会」と名を変え、全ての期が経験している伝統行事です。今号の特集では、過去の資料を調べ、歩く大会の歴史やコースの変遷を振り返ってみました。(同窓会広報部)

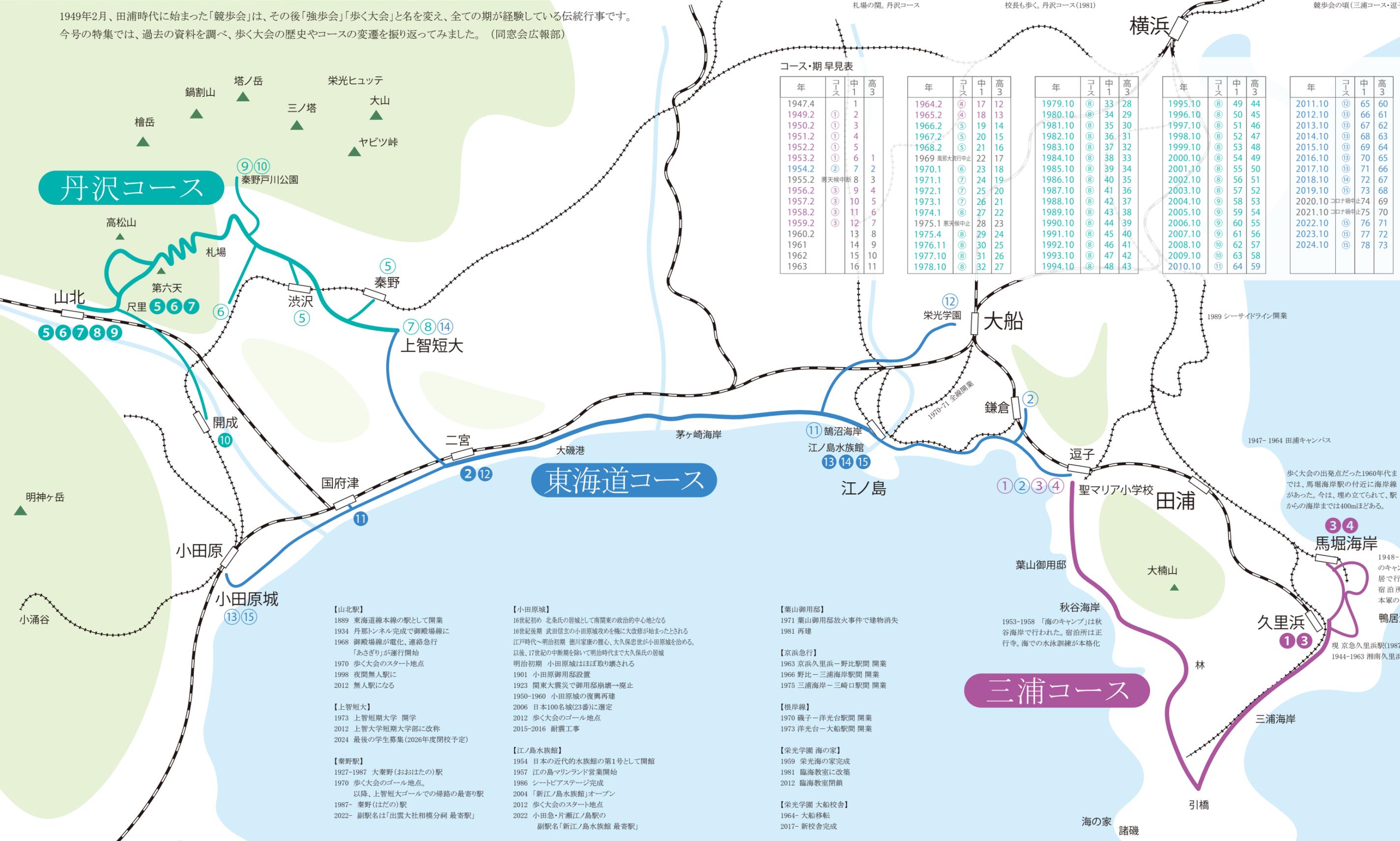


初の東海道コース(大磯付近) (1954)

札幌の関。丹沢コース

校長も歩く。丹沢コース(1981)

競歩会の頃(三浦コース・逗子付近)



丹沢コース

東海道コース

三浦コース

- 【山北駅】**
1889 東海道線本線の駅として開業
1934 丹那トンネル完成で御殿場線に
1968 御殿場線が電化、連絡急行「あさぎり」が運行開始
1970 歩く大会のスタート地点
1998 夜間無人駅に
2012 無人駅になる
- 【上智短大】**
1973 上智短期大学 開学
2012 上智大学短期大学部に改称
2024 最後の学生募集(2026年度閉校予定)
- 【秦野駅】**
1927-1987 大秦野(おおはたの)駅
1970 歩く大会のゴール地点。
以降、上智短大ゴールでの帰路の最寄り駅
1987- 秦野(はだの)駅
2022- 副駅名は「出雲大社相模分祠 最寄り駅」

- 【小田原城】**
16世紀初め 北条氏の居城として南関東の政治的中心地となる
16世紀後期 武田信玄の小田原城攻めを機に大改修が始まったとされる
江戸時代～明治初期 徳川家康の腹心、大久保忠世が小田原城を治める。
以後、17世紀の中断期を除いて明治時代まで大久保氏の居城
明治初期 小田原城はほぼ取り壊される
1901 小田原御用邸設置
1923 関東大震災で御用邸崩壊→廃止
1950-1960 小田原城の復興再建
2006 日本100名城(23番)に選定
2012 歩く大会のゴール地点
2015-2016 耐震工事
- 【江ノ島水族館】**
1954 日本の近代的水族館の第1号として開館
1957 江の島マリナランド営業開始
1986 シートピアステージ完成
2004 「新江ノ島水族館」オープン
2012 歩く大会のスタート地点
2022 小田急・片瀬江ノ島駅の副駅名「新江ノ島水族館 最寄り駅」

- 【葉山御用邸】**
1971 葉山御用邸放火事件で建物消失
1981 再建
- 【京浜急行】**
1963 京浜久里浜-野比駅間 開業
1966 野比-三浦海岸駅間 開業
1975 三浦海岸-三崎口駅間 開業
- 【根岸線】**
1970 磯子-洋光台駅間 開業
1973 洋光台-大船駅間 開業
- 【栄光学園 海の家】**
1959 栄光海の家完成
1981 臨海教室に改装
2012 臨海教室閉鎖
- 【栄光学園 大船校舎】**
1964- 大船移転
2017- 新校舎完成

歩く大会の出発点だった1960年代までは、馬堀海岸駅の付近に海岸線があった。今は、埋め立てられて、駅からの海岸までは400mほどある。

1989 シーサイドライン開業

1947-1964 田浦キャンパス

1948-1952「海のキャンプ」は鴨居で行われた。宿泊所は旧日本軍の兵舎
鴨居海岸
現 京急久里浜駅(1987-)
1944-1963 湘南久里浜駅

歩く大会は、冬の遠足の代わりとして、『友情を深める』『自然美を味わう』『健全な運動』という3つの目標を掲げて実施されたのが始まり。歩く大会が始まった頃のルールは、「かならず2人以上で歩く」「途中で、スケッチおよび詩歌を制作する」「弁当・スケッチのための時間を各15分以上とる」の3箇条。作品が完成しないため、ゴール寸前で足踏みしながら苦吟する生徒も少なくなかったといえます。

第1回の優勝者は、「時間:1級 4時間29分」「絵:B級」「詩:A級」と記録されています。絵の中では、富士山を描いたものが多かったそうです。

現在でも、「2人以上で歩く」というルールは残っています。制限時間が設定されており、制限時間内のゴールが、高校での体育のスポーツテストの級の取得要件になっていたこともありました。

右頁は、歴代の主なコースを実際に回って見たレポートです。

【歩く大会 年表】

1947.4 栄光学園、田浦キャンパスで開学

1949.2 第1回「競歩会」
①[中学]久里浜駅～引橋～逗子コース(30km)
競歩の名のとおり、歩くよりも小走りに近かったらしい。

1952.2 第4回「強歩会」(名称が競歩会→強歩会に)

1954.2 第6回 コース変更
②[中学]二宮駅～鎌倉コース(32km)
[高校]二宮駅～鎌倉～逗子コース(36km)
開催時期が2月のため、高3は参加しないのが通例。

1955.2 第7回 雨天につき途中打ち切り。

1956.2 第8回 コース変更
③[中学]久里浜駅～引橋～逗子(30km)
[高校]馬堀海岸駅～久里浜～引橋～逗子(35km)
馬堀海岸から三浦半島を海沿いに周り逗子の聖マリア小学校。中学生は国鉄久里浜駅から合流。

1960.6 道路交通法が制定。法の目的に道路交通の「安全」のみならず、道路交通の「円滑」を図ることを加えられた。

1961 大会中断。道路交通法の規制により、マラソンの大会は
-1963 不許可。また、引橋～逗子間の道路使用も交通量が多いとのことから不許可。

1964.2 第13回「栄光歩く大会」と名称変更。絶対に走らないことを条件に、道路使用の許可を受け、4年ぶり復活。

1964.9 大船キャンパスで新学期

1966.1 第15回。高校のコース変更。
④馬堀海岸駅～引橋～逗子(40km)
馬堀海岸～久里浜間のコース変更で35km→40kmに。

1968.1 第17回。
この回が期せずして馬堀海岸～逗子の最終回となる。

1969.1 風邪(香港インフルエンザ)の大流行で中止。

1970.1 第18回 コース変更
⑤[中学]尺里～第六天～渋沢(21km)
[高校]山北駅～尺里～第六天～大秦野駅(27km)
この頃は、大船観音下からクラスごとのバスで、スタート地点まで向かう。尺里は山北駅から2kmほどの国道246号線沿いの周辺の山登りコースの起点。

1971.1 第19回 コース変更
⑥[中学]尺里～第六天～246号沿いのドライブイン(21km)
[高校]山北駅～第六天～246号沿いのドライブイン(23km)

1973.4 上智短期大学が秦野に開学

1974.1 第22回 コース変更
⑦[中学]尺里～第六天～上智短大(25km)
[高校]山北駅～尺里～第六天～上智短大(27km)

1975.1 雨(ところにより雪)により学校出発後中止決定

1975.4 第23回 春の遠足の代わりに実施

1976.11 第24回 国鉄スト、集中豪雨等により授業日数調整。
1977.1の予定を前倒して実施。

1977.10 第25回 以降、10月末開催
⑧山北駅～第六天～上智短大(中学26km、高校27km)
コースは中学・高校ともスタートは山北駅から。出発点までは各自集合。高校は高松山を經由。

2004.10 第52回 コース変更
⑨山北駅～第六天～秦野戸川公園(25km)
27年ぶりのコース変更。ゴールが秦野戸川公園に。

2008.10 第56回 コース変更
⑩開成駅～尺里～第六天～秦野戸川公園(25km)
開成駅は初登場。中盤の山岳コースは同じ。

2010.10 第58回 コース変更
⑪国府津駅～鵠沼海岸(26km)
56年ぶりの湘南海岸沿いコース。

2011.10 第59回 コース変更
⑫二宮駅～栄光学園(27km)
小刻みなコース変更が続く。
発着点に栄光学園が設定されるのは初。

2012.10 第58回 コース変更
⑬江の島水族館～小田原城(33km)
湘南海岸沿いコースで初の富士山(西)方向設定。

2018.10 第66回 コース変更
⑭江ノ島水族館～二宮～上智短大(31km)
15年ぶりの上智短大ゴール

2019.10 第67回 コース変更(⑬に戻る)
⑮江ノ島水族館～小田原城(33km)

2020 -2021 コロナ大流行で大会中止

2022.10 第68回 歩く大会準再開(半分の距離)

2023.10 第69回 歩く大会完全再開⑮コース
現在に至る。

丹沢コース



山北駅



尺里橋



第六天



寄



札幌



太平洋GC



三廻部



秦野戸川公園



上智短大
(秦野)

東海道コース



新江ノ島水族館



辻堂海浜公園



茅ヶ崎海岸



新湘南大橋



大磯



二宮



国府津



酒匂川



小田原城
(小田原)

三浦コース



馬堀海岸駅



浦賀



久里浜



三浦海岸



引橋



秋谷海岸



長者ヶ崎



葉山



聖マリア小
(逗子)

OBだより

24.2.23

22期同期会

「栄光学園22期 卒業50周年記念パーティー」を2月23日に横浜駅西口ホテルプラムで開催しました。当日は物故者を除くと半数近い同期生75名と恩師4先生の参加を得ることができました。

受付で会費と交換に受け取ったのは、渡邊(俊)さんが印刷してくれた4枚の資料。パーティーの式次第・Eiko High Foreverの歌詞カードと参加者の近況および卒業アルバムのクラス別写真のコピー2枚。三谷さんの提案から実現した卒アルの写真は楽しいものでした。クラスごとにテーマがあり、イラストに顔写真を貼り付けたもので、名前と顔を一致させることを楽しみ、50年という月日が人の顔をどう変えたかを皆で味わいました。

司会は小林(晋)さん。歯科医(シカイ)ですのでお願いしました。彼が指名した第25回創立記念祭実行委員長の名執さんによる点呼で75人の仲間がどこのいるのか分かり、最初から和やかな雰囲気が出されました。乾杯(作道先生)の後、4人の恩師が紹介され、盛大で賑やかな会が始まりました。

・稲田(千)先生:体調の理由で、自分の時間を大切になさる毎日のことです。今回も、イナチ独特の節回しで激励してくださいました。

・梅津先生:聴力低下と伺いましたが、私たちとのコミュニケーションはとてもスムーズでした。4期生である先生は初代ウルチ学年生でもあります。栄光学園の金曜テニスは、運

転免許返納の故、卒業なさいました。

・作道先生:下関市の細江カトリック教会主任司祭と、下関天使幼稚園の園長先生の二つのjobsを担っていらっしゃいます。

・迫先生:22期陸上部員をインターハイ出場に導いた指導者!昨年度3月まで高1のゼミで畑を作り、生徒と美味しいものを食べていらっしゃいました。

賑やかなパーティーも、終わりの歌=Eiko High Forever(懐かしく感じるがこれからも生き続ける元気を得られる、関の声)を肩を組んで歌う時が来ました。楽しい時を過ごした参加者の歌声は力強かったです。小生はMartin D-35(40年程前留学中に750ドルで購入)で伴奏する機会を与えられ、サイコーでした。これからさまざまな困難が待ち受けていると思います。でも、困難な時に、Eiko Highを口ずさみ、立ち向かう勇気を得ましょう。栄光学園で確かに学びました。これからも、人生の様々な場面で、この歌は私たちに鼓舞してくれます。
小池正克(22期)



同窓会HP
>活動報告・会報記事
>各期活動

24.5.26

27期 vs 28期ソフトボール対抗戦

2024年5月26日(日曜日)母校フィールドにおいて27期ソフトボール大会を開催しました。卒業した1979年の夏から始まり毎年恒例となった27期生有志によるこの大会は2020年から2022年の休止期間を経て昨年再開、卒業45年を迎えた今年は夕方の懇親会も含めて、23人の27期生、8人の28期生、そして、迫先生、飯野先生(19期)、高田先生(28期)、柳下先生(29期、現校長)にご参加頂き、金子先生(元校長)も応援に駆けつけて頂きました。

当日の天候は、晴れ、気温25℃、爽やかな南西からの風が吹く最高のコンディションに恵まれました。正午フィールドに全員集合、迫先生の号令の下で準備運動を始めるや否やあちらこちらから身体の軋みに呻く声が聞こえてきます。ストレッチのため寝転ぶと空が広く青く、初夏のフィールド独特の草と土の匂いに懐かしい記憶が刺激されます。

ホームベース位置をフィールド中央の校舎寄りに決めて、レフト方向に講堂、ラ



イト方向にサッカーグラウンド、清泉方角からの薫風に乗ってレフトへの飛球がぐっと伸びる条件です。

優勝を懸けた第三試合は延長6回表27期Aチームが1点得点したのに対して6回裏27期Bチームがサヨナラ勝ちで2戦全勝の優勝という劇的な展開となりました。

試合後は大船駅近隣で懇親会です。ソフトボールには参加せず懇親会から参加した数名も加わり大いに旧交を温めました。

27期野球部有志(千々松、濱田、宇野、村田、藤岡、川野)

24.3.2

27期同期会①

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>各期活動

3月2日(土)18時より、卒業45周年の27期同窓会をホテルプラムで開催しました。米国と中国から駆け付けた2名を含む90名の同期生が出席し、シルゴ先生、キエサ先生、迫先生を来賓としてお招きしました。開宴の際は、ビアスタイル21の佐々木正幸君から提供いただいたプレミアムビール「GARGER」で乾杯し、諸先生方から近況報告を兼ねたご挨拶を賜りました。

今回の同窓会では、事前にキャッチフレーズを募集しました。応募のあった24作品の中から幹事団は山本雅樹君原案の「人生100年、まだ六合目!?!」を選出し、山本君には賞品の栄光グッズを贈呈しました。その後の歓談タイムでは、これも事前に募集した27期「思い出アルバム」150葉を会場内でスライド上映し、懐かしい写真を肴に会話が弾みました。宴の中盤では、海外居住者の鈴木明彦君(スコットランド)と矢野博巳君(スイス)がZoomでオンライン参加しました。コロナ禍を経てオンラインでのコミュニケーションが普通に行われるようになったことは、前回からの5年間に於ける大きな環境変化でした。また、恒例となっている様々な同期イベントについて紹介しました。栄光フィールドでのソフトボール大会を始め、大相撲観戦、茅ヶ崎地引網、酒蔵見学、ハマスタ野球観戦、オール栄光ゴルフコンペと今後開催予定の各イベン

トへの積極的な参加を呼びかけました。終宴が近づいたところで懐かしい歌の披露を行いました。昨夏のオール栄光ゴルフコンペにおいて31期の後輩から「創立記念祭の歌は誰が作ったのですか?私たちが高2の時も歌詞の開催回数部分を替えて歌っていました」と教えられ、それを契機に27期と飯野先生のSNSで創立記念祭の制作経緯について盛り上がりました。そこで、作曲を担当した田中基仁君が、今回の同窓会に向けて当時の写真映像付きのカラオケを作ってくれました。田中君の指揮のもと、45年ぶりに出席者一同で創立記念祭の歌を合唱しました。そして大トリは、恒例の「EIKO HIGH FOREVER」です。岩倉宏司君の指揮により、シルゴ先生、キエサ先生、迫先生を囲んで合唱し、お開きとなりました。

中村洋一郎(27期)



24.8.21

27期同期会②、真夏の「ハマスタ観戦」イベント

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部活動

27期による真夏の恒例イベント、ハマスタ観戦が8月21日に行われました。2013年に始まったこの集まりは、コロナによる2年間の休止を挟み、今年で節目の10回目を迎えました。当初同期7名からのスタートも、回を重ねる毎に参加人数も増え、昨年は、飯野先生がお嬢さま同伴で、大竹先生がご夫妻で、さらにはソフトボール大会で声掛けした28期からも6名参加で、56名まで増えました。

団体席でペンライトやお揃いのレインボウアフロヘアで目立たせたことが奏功して、場内の大型ビジョンやTVKの実況中継に映りこむことにも成功しました。

そして今年は更にパワーアップを図るべく、昨年のオール栄光ゴルフコンペの際に声掛けした20期から2名、28期からは昨年の倍となる11名が参加、家族や友人も含め総勢62名、観戦席9列を占める一大アフロ軍団に成長しました。周りの観客からは、声掛けやSNSで喧かれるなど、今年も大いに注目を浴びました。

横浜DeNAベイスターズが中日ドラゴンズを迎えた試合は、投げたは抜群の安定感を誇るエース東が6回1失点の好投、打っては佐野の初回先制2ランや主砲オースティンの21号ソロなどで着々と得点を重ね、7-1で快勝し、ダンスコンテストやジェット風船を飛ばしながらの応援にも熱がこもりました。

観戦と合わせたもう一つのお楽しみは、近くの居酒屋に場所を移しての懇親会。久しぶりに再会した旧友との話にも花が咲き、時間を忘れて和やかなひとときを過ごしました。

来年少以降のさらなる参加者拡大に向け、同週末に行われたオール栄光ゴルフコンペの懇親会で声掛けをしたところ、23期、43期、64期など多くの同窓生からの賛同もいただきました。栄光同窓生100人規模の『オール栄光、ハマスタへ行こう。』の一大イベントにするという「夢」が叶うのは、決して遠い日のことではないとあらためて確信しました。ご興味のある同窓生の方は、いつでもお気軽にお声掛けください。

堀内英樹、金子和、渋谷直人(27期)



29期同期会

2023年12月9日、29期生有志が、遅ればせながらの還暦祝いを兼ねた忘年会に集まった@横浜。決定をしてから間もない開催であったにも関わらず、最終的に30名の参加の下、中嶋(康)君の乾杯で開宴。60・61歳になっても、たとえ卒業以来会ってなくても、あっという間に6年間一緒に過ごした仲間にもどる。ただ開始間際には、経年劣化のせいで、やや仲間の認識・判別に時間がかかることもあった。久しぶりの酒席は、それぞれに鍛えてきた者の集まりだけに、話題も酒量もハンパなかった。節目の年齢に当たり、セカンド・ステージ(さらにサード・ステージ)に進む者、まだまだ後身に知識や技術を伝えるべく残る者がいたり、酒を酌み交わしながら、それぞれの元気・活躍!!を確認することができた。部活のあと、栄光坂の下の店での、お決まりの「チェリオ」のように、ものすごいスピードで一升瓶が、ビールのピッチャーが、あちこちのテーブルで次々と空になっていった。あっという間の2時間だった。この

歳になっても、それぞれが刺激を受け合える関係でいられることがしあわせである。久しぶりに集まって相互に元気を補給しあえたこともあり、体力の衰えを感じ始めている初老親父の我々は、恩師にも、仲間にも会える時に会っておかないと・会っておきたい、という気持ちになった。'24年も集まれるように企画をするつもりなの



石井伸明(29期)

29期同期会 29期の絆:柳下修新校長就任祝賀会

晴れ渡る6月1日、我々栄光学園29期生にとって特別な日となった。同期の柳下修氏が栄光学園の新校長に就任したことを祝い、43名もの同期生が一堂に会した祝賀会が盛大に開催された。

祝賀会に先立ち、柳下新校長自らの案内で母校キャンパスツアーが行われた。25名の参加者は、久しぶりに栄光坂を登り、懐かしさと新鮮さが入り混じる感情を胸に母校の門をくぐった。ツアーは正門右側に建つ聖堂棟の前で、柳下新校長が「この聖堂棟は創立50周年を記念して完成したものだ」と説明し、スタートした。参加者たちは、自分たちが卒業してからの学園の変化に、驚きと感慨を覚えた。約1時間のツアーで訪れたのは、小講堂、聖堂、ラーニングルーム、野球場などだ。場所は違っても、かつての学校生活や文化祭の思い出が蘇る。特に印象的だったのは、新設されたラーニングルームだ。最新の設備が整えられ、現代の教育ニーズに応える学習環境に、参加者たちは母校の進化を実感した。ツアーの締めくくりは、講堂前の階段での記念撮影だった。再びこの階段に並んで、時の流れと変わらぬ絆を感じずにはいられなかった。撮影を終えると、一行は高まる期待とともに祝賀会場へと向かった。

祝賀会は、軟式テニス部で柳下氏と共に汗を流した石井伸明氏の発声による乾杯で幕を開けた。学生時代のエピソードを交えながら、その人柄と能力への信頼を熱く語り、会場は笑いと感動に包まれ、柳下氏の人望の厚さを改めて感じる



前田 真孝、中路 喜之(29期)

で、集まる話題の提供をお願いする。次回まで元気で、また!

開催した9日はアルカラ先生の満94歳の誕生日で、同会でも先生の近況が報告された。しかし2024年1月8日に召天されたとの知らせを受け、先生に世話になった29期生一同、先生に深い感謝と心より哀悼の意を捧げる。

1次会参加者(全体写真・敬称略):遠藤・千田・市村(厚)・市村(洋)・宮崎・原田(冬)・植松・鈴木・佐々木(康)・岩佐・二木・森田(真)・佐野・野村(勝)・中嶋・杉浦・五十嵐・宮島・阿部・西川・清水・小山・石井(誠)・神田(輝)・吉田(誠)・市川・山下・鹿野・神野・前田(真)

◆工作上、東京を離れられないというやむを得ない事情を汲み、12月15日(金)に大林気象庁長官(当時)を囲んで「第2弾」を開催。第1弾同様、素晴らしい会だった。参加は、神野、田寺、竹村、原田、佐々木(康)、大林、中路(写真右から・敬称略)。

石井伸明(29期)

30期同期会 「還暦記念」同期会



時の経つのは早いもので、30期の「還暦記念」同期会が5年ぶりに開催されました。今回の幹事は軟式庭球部・バレー部です。今回は、懇親会に先立つ特別企画として栄光学園新校舎見学会も実施し、23名が参加しました。学園事務統括である山田さんに案内いただきましたが、参加者の多くが新校舎を見るのは初めてということで、懐かしい気分と新しい栄光を同時に感じるこの出来る良い機会となりました。

ホテルプラムで開催した同期会には67名が参加し、来賓として迫嘉邦先生・飯野習一先生・近藤基博先生にもご参加いただきました。今回は初めての



米山操(30期)

37期同期会

37期同窓会を「中学40年生への進級を祝い」として、昭和99年(令和6年)3月10日(日)12時~15時に、横浜のホテルプラムにて開催しました。当日は52名の同期生に加えて、大島弘尚先生、ロバート・キエサ先生、小池登明治先生、小池正克先生、今野安春先生、山本洋三先生(あいうえお順?)の6名の先生方にもご臨席いただきました。

37期は、入学が昭和58年4月、卒業式は平成元年の昭和天皇の大喪の礼の日、の学年になります。同期会はコロナ前の令和元年5月以来の約5年ぶりの開催となりました。「35年ぶりの再会」も多く、同期が到着するたびに、「お～、〇〇!??」の声があがります。開会前から部屋の熱量は充分に上がっている中、司会の小林千波君による来賓の紹介、青山直樹君の乾杯の発声で会は始まりました。

乾杯の時点で、十分にアイスブレイクしておりましたが、同期が持参した、「卒業アルバム」「生徒手帳」「生徒名簿」「高校生の時に製作したクラスTシャツ」、それに加えて、小池正克先生が持参された「中学1年次の日直日誌」などの数々の品々が披露されると、その品々を手にとった同期からは、うめき声にも似た感嘆を意図



村井基彦(37期)

試みとして、海外在住等でリアル参加出来ない方向向けにZOOM方式も追加し、2名が参加しました。

また、これまでの同期会は立食開催でしたが、皆が還暦という年齢も考慮して?初めて全員着席という運営としました。

物故者への黙とうの後、来賓の迫先生・飯野先生・近藤先生から近況のご報告をいただきました。その後は30期参加者全員が還暦を迎えての近況報告です。栄光卒業から40年超、人生の節目で皆が近況や思いを熱く語ったこともあり、時間はあっという間に過ぎて、1次会は予定時間をオーバーしてしまいました。

続く2次会にも49名が参加し、22時過ぎまで皆の熱い語らいが続きました。なお、3次会にも行った元気な還暦おじさんも複数いた模様です。また、次会も皆元気に集まりましょう!次会幹事の硬式庭球部・野球部の皆さま、宜しくお願いたします。

米山操(30期)

すると思われる音が発せられていきます。同期だけでなく先生の物持ちの良さに感激です。

1時間ぐらい経過したころからは、会場から空港に直行+海外赴任の水野潤一君の近況報告を皮切りに、ご出席いただけた先生からお言葉(ほぼ漫談)を賜り、その後は、リレー指名形式での近況報告となりました。もともと、マイクの無いところでも、会場内の各所で歓談というにはボリュームの大きい会話が弾み、予定した3時間は文字通り「あっ!」という間に過ぎ去り、40年分気持ちは若返ったところで、「EIKO HIGH FOREVER」を合唱して盛会の裡にお開きとなりました。

村井基彦(37期)

新年を迎えて間もない2024年1月7日(日)、ホテルプラム横浜にて70期の二十歳の集いを開催しました。我々の想定を超える70期卒業生143人に加え、お世話になった崎村先生、枝村先生、片居木先生、武藤先生をお招きして、非常に楽しい時間を過ごすことができました。70期の栄光学園での最後の2年間は不幸にもコロナ禍に見舞われ、高校生活を十分に楽しむことなく卒業を迎えた学年でした。幸い卒業以降の行動制限は緩和傾向にあり、栄光祭や同窓会70周年記念のスポーツ大会などを通して再会を果たすこともありましたが、これだけの人数が一堂に会するのは初めての機会となりました。参加可否を回答するためにはがきに楽しみにしている旨の一言を添えてくれた同期も多く、成人式に合わせての実施ではありましたが、卒業して2年弱というタイミングでの開催はちょうどよかったのではないかと思います。

当日は開会前から昔話を花を咲かせたり近況を報告し合ったりと、大盛り上がりからのスタートでした。5年間お世話になった崎村先生による乾杯の音頭で開会を迎え、前半は参加者による歓談の時間としました。立食形式のパーティーとしたので、お互いに久しく会っていなかった仲間とも会話が弾んでいました。後半は幹事による企画としてクイズ大会



を行いました。栄光学園時代に起こった様々な出来事を題材に勝ち残り形式のクイズとしたものの、6年間を一緒に過ごした仲間なので想定以上の正解率の高さでした。また英語の授業で歌った“Don't Look Back in Anger”を全体で大熱唱する時間もあり、2時間はあっという間に過ぎていきました。

この二十歳の集いの開催自体は前々から決まっていたものの、参加者募集から集金、準備まで全てがギリギリの状態で当日を迎えました。特に幹事を一緒に務めてくれた70期委員や2週間前にも関わらず開催のお願いをした二次会幹事の2人には感謝してもきれません。とはいえ、無事にトラブルもなく終えることができ非常によかったです。次の同窓会はいつになるかわかりませんが、そのときにはまた会いましょう！

中畑 樹 (70期)

2023年5月にコロナ感染症が2類から5類に変更になり、人の流れが活発化してきました。世間の動きにつられるように、岡山栄光会も昨年6月に4年ぶりに夏の例会を、今回は2月に冬の例会を倉敷にて開催いたしました。

設立後12年たち、会員の入れ替わりがあり、現在の会員は、岡山県永住/在住者が6名、他地区に在住者で岡山地域での業務関係者2名の計8名で、当日の参加者は13期から30期の6人の侍でした。

コロナ禍4年の間でふっくらされた方・スマートになられた方もいらっしゃいましたが、お元気なお顔が久しぶりにそろいました。始まると相変わらずのにぎやかな会話で終始し、途中で各自の近況紹介を入れて、3時間があっという間に過ぎてしまいました。

岡山栄光会では、1年に夏冬で2回の例会を開催しています。



山陽地区・香川地区に異動されてきた方がいらっしゃれば、ぜひご連絡ください。規模はあまり大きくありませんが、和やかな雰囲気の中での人との温かなつながりを感じられます。ご連絡をお待ちしています。

連絡先: okamotos1953@yahoo.co.jp

岡本卓郎(20期)



2024年5月29日、ロンドン栄光会を開催しました。名取君はボルドーから飛んできてくれました。色んな期にまたがっていますので、写真に写られている方を紹介いたします。左手前から回って、柴田(54期)、中矢(53期)、渥美(29期)、長野(41期)、中村(69期)、松下(68/69期)、鈴木(46期)、名取(63期)、です。鈴木、中村、両君は、今夏、日本に帰国とのことで、ロンドン栄光会OB会の開催をお願いしてあります。鈴木君は、ジャカルタ栄光会でも盛り上がっていたそうです。この鈴木君のコメントにもある通り、世界各地で、栄光学園卒業生の集いが開催されています。

ロンドンでも、一時期、自然発生的に、栄光卒業生の会が、2グループで行われていたこともあり、それを一つにまとめ、今に至っています。ですので、今までの開催の記録がしっかり残っているというものでもないですし、これが第何回かとか、第一回目の設立趣旨が書いてある、というものでもありません。でも、仕事や勉強に人付き合いががたよってしまいがちな日々、栄光学園という共通項で集まれるネットワークは、大変に貴重です。世界中に栄光卒業生が集まれる場が広がってくれればいいと思います。

ソーシャルネットワークのおかげで、特に若い人たちが参加しやすくなってきました。また、これに合わせて、海外からも集まってくれるようになってきています。海外赴任中の同窓生が、アラムナイを直接手にする機会はなかなかないのですが、今回、同窓会ホームページや、同窓会誌アラムナイで、ご紹介させていただける折角の機会をいただきました。折角ですので、少し過去の未紹介だったロンドン栄光会の開催の報告もこの場を借りてさせていただきます。



2017年8月、ロンドン栄光OB会、31期、松浦さんの東京帰任壮行会です。27期、斎藤さんが、松浦さんの背後、右が28期、二宮さん、右後方が36期、若林さん、左後方が、40期服部さん、私、29期、渥美は、松浦さんの左側です。わかる範囲で、歴代参加者の名簿があり、最年長は、27期、斎藤さんです。でも、間違いなく、過去には、もっと先輩もロンドンで部分的にせよロンドン栄光会を開いていたと思われます。



2015年8月、53期小野、51期保科、49期樋口、45期須合、29期渥美、名誉会員池田、濱田、です。池田さん、濱田さんは、暁星の卒業生で、同じカトリックの男子校だからということで、栄光、暁星、ロンドン同窓会を開催しました。イエズス会の創設者、イグナチウスデロヨラも、フランシスコザビエルも、バスク人ということで、池田さん、濱田さんの提案で、ロンドンのバスク料理の店に集まりました。



2022年5月、コロナのロックダウンで、2年ほど中止していましたが、ロンドン栄光会、リアルに復活。右端から、池羽(33k)、江口(55k)、中村(33k)、上原(30k)、渥美(29k)、伊藤(36k)、中矢(53k)、高野(53k)、松浦(31k)。写真2で送別された31期松浦さんが、再度、ロンドンに戻ってきました。この後、2023年から、フェースブック、栄光学園の友達に、開催するたびに写真を載せていますので、ぜひ、ご覧ください。このページのおかげで、ロンドンが開催したら、続いてニューヨークが開催した、パリも昔あったものを復活させようと準備ができてきている、以前は、バンコク、シンガポール、ペルーでも開催されていた、などのコメントが寄せられ、継続は力なり、を実感しています。

特に海外では、ひとりぼっちでは心細い、孤軍奮闘にも限界がありますが、友達ネットワークが解決してくれることは多く、今後、ますます世界中に栄光学園の輪を広げていきましょう。ロンドンへお越しの節は、仮に短期でも、ぜひ、お声がけください。みんなであつながつて、盛り上げていきましょう。

渥美泰典(29期)

第17回逗葉栄光同窓会

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部活動



お元気！徳永さん(1期) ▲

7月7日(日)七夕の日午後6時から、逗子市新宿「シーサイドイタリアン カンティーナ」にて第17回逗葉栄光同窓会がコロナ禍を経て5年ぶりに開催されました。参加者は1期から45期までの会員22名(令夫人同伴2名)に加え、来賓柳下校長(29期)、河原同窓会会長(37期)、高橋(28期)& 大須賀(39期)同窓会副会長、増木鎌倉栄光会会長(30期)、佐伯藤沢栄光会

会長(15期)の臨席もあり総勢28名でした。

現会長(田中尚武10期)の開会挨拶では、逗葉同窓会発足のいきさつを紹介しました。1984年(昭和59年)逗子市長に立候補した富野氏(10期)支援にOB集会を持ったことを契機に、翌1985年(昭和60年)3月17日政治色を抜いて同窓会が結成されたこと、そこから数えれば足掛け40年の歴史があり、お互いに喜び合いたいですねと。続いて総会に移り、決算、予算、会則改定、役員人事が諮られすべてが了承されました(新役員陣は文末参照)。

引き続いての懇親会では、大先輩徳永氏(1期)の乾杯とスピーチで元気を注入していただいた後、前同窓会副会長の青木氏(10期)により「～写真と音声で綴る～栄光学園同窓会70周年行事 田浦時代のEIKO」が紹介されました(共同制



同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部等活動

バレー部OB会

山手駅前の複合イベントビルにてバレー部OB会が開催されました。今回は、バレー部顧問の近藤基博先生を迎え、近藤先生が顧問をしていた期のうち30期から48期まで22人の卒業生が一堂に会しました。久しぶりに顔を合わせたメンバーたちは、懐かしい話に花を咲かせました。

まず話題に上がったのは、どの期が一番強かったかという話です。皆が自分たちの期の活躍を誇りに思い、それぞれの試合の思い出を語り合いました。また、練習試合の昔話や、先輩と後輩のやり取りについても盛り上がりました。特に印象的だったのは、今のバレー部が非常に強いという話題で、先輩みんなで応援しに行きたいね！と話しておりました。



米田哲郎(44期)

作大須賀氏)。貴重な映像はもちろん、グスタフ・フォス校長の肉声も流れ、18期以前、田浦世代の会員には懐かしかったと思います。14期以降の会員はどう受けとらえられたでしょうか。栄光学園の原点に少しでも触れてもらえたとしたら嬉しいことです。

歓談タイムでは、会員はもちろん、柳下校長、河原同窓会会長やご来賓各位からの近況報告に加えて、時節柄、浅尾参議院議員(30期)からの政局表・裏話もあり、和やかな盛り上がりでありました。終わりに、山田新会長(30期)、星野新副会長(12期)の決意を込めた挨拶による中締め、全員での記念撮影となり、午後8時半にお開きとなりました。

最後に役員提案二つ。山田新会長から、学園諸施設(空調等)整備に伴う寄付(未来EiKO募金)の説明とお願いがあり、これを受け次回第18回逗葉栄光同窓会に向けて前向きに検討することと、同窓会は原則2年毎の開催ですが、オプションとしてその合間、来年春に向けてBBQパーティ企画を練ることが了承されました。

*新役員陣 会長:山田宏幸(30期) 副会長:星野 崇(12期) 川瀬弘一(24期) 事務局長:小島 宏(20期) 会計幹事:近藤亮介 監事:青木嘉光(10期) 幹事:田中尚武(10期) 松岡 晃(14期) 菱沼徹臣(17期) 小菅 純(18期) 丸山浩之(34期) 松岡 友輔(45期)

田中尚武(10期)

4時間半という時間があっという間に過ぎ、その後は二次会も行われました。懐かしい仲間たちとの再会と、近藤先生の指導で学んだことを振り返りながら、お酒も進み、楽しいひとときを過ごしました。今回、バレー部のOB会は久しぶりの開催でしたが、栄光学園という絆を再確認する素晴らしい機会となりました。

米田哲郎(44期)

ブラスバンド部OB会

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部等活動



けのなかで準備が始まりました。

当日演奏する曲の選曲を経て、1月にOBに声掛けをはじめました。声掛けと共に参加表明をされた面々は自主練に入ります。

2月初旬からは参加者予定者が、学園音楽室や、都内の集會室(音を出せる)に何度も集まりみっちり練習。本番に臨みました。

物理部OB会

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部等活動

2024年3月23日、アロイジオ会館及びオンラインで物理部OB会総会を開催いたしました。開催形態は昨年度に引き続き現地とオンラインの併用開催といたしました。今回は18期から72期までの総勢29名の方々にご参加いただき、物理部の歴史を感じられる会となりました。オンライン参加の人数は3人と少ないものの、就職されてない方の現地参加時の会費を無料としたため、若い世代(64期以降)の参加者数が11名となりました。

総会では参加者間の自由懇談ののち、以下の2つの議題について議論しました。

1. 物理部OB会総会の開催形態
 2. 総会の案内の展開方法
- 1つ目の議題に関しては、以下の観点で議論を行いました。
- ・開催形態として、現状の現地とオンラインの併用を続けるか、あるいは現地のみや完全オンラインとすべきかどうか
 - ・現地会場としてアロイジオ会館以外を検討すべきかどうか
 - ・現状土曜としている開催曜日として日曜も考慮すべきかどうか

その結果、OB会の議題事項について議論する総会と、メンバー間の懇談を行う懇親会を分けたうえで、前者はオンライン併用で、後者は現地のみで行う形がよいのではないかとということとなりました。

ブラスバンド部のOB演奏が徐々に復活しました。

例年、OB演奏はブラスバンド部の定期演奏会の一部として企画されてきましたが、コロナ禍で2020年から途絶えておりました。4年間途絶えたことで、現役学生にはOB演奏の部を経験した者がおらず、OBと連絡・調整をするところから手探りです。

OB演奏の部を企画したものの、OBが本当に集まってくれるのか・・・など、不安だら

曲は、【アルセナール】と【シング・シング・シング】の2曲。アンコールでは現役部員と合同で【星条旗よ永遠なれ】を無事に演奏出来ました。

演奏会後には講堂裏の音楽室にてOB総会を実施し、新メンバーの紹介や次期幹事などを決めました。その後は現役部員と合同で鎌倉のお好み焼き屋にて打ち上げをしました。

来春もOB演奏を行うと思いますので、部のOBの皆さんご準備ください。

尚、ブラスバンド部OB会では、現役生の活動情報の共有の促進、OB同士の交流の円滑化を目的に、栄光プラスOB限定のLINEオープンチャットを開設いたしました。



PW: seijoki ▲

右のQRコードからは是非ご参加ください。ただし、参加にあたっては次の2点を遵守ください。

【注意①】参加時に自身のプロフィールの登録を求められます。プロフィールでの登録では、登録名を「〇〇期 名字 パート」と入力ください。

例)**期 ** クラリネット

【注意②】栄光プラスOB以外の人物をオープンチャットに招待する行為はおやめ下さい。

2つ目の議題については、総会の開催費用削減を目的に、総会の案内展開方法としてはがき送付の代わりにEACONのメッセージ送付機能を活用することの是非を議論しました。活用については賛同を得られたものの事前にOB会の会則を変更する必要との指摘を受け、次年度に会則の更新を検討することといたしました。

今年度の総会はSpatialChatを用いて小集団ごとのオンライン懇談を取りやすく、また各自の自己紹介・近況報告の時間をなくし、参加者間の交流時間を長くとれるようにしました。ただ、現地参加の人も各自の端末でオンライン会場に入る想定をしていたためマイクのオン/オフを適切に設定しないとハウリングなどの課題がわかりました。今後も、参加者の満足度を高くできる開催形態を検討していきたいと考えています。

石田 明久(51期)



他者のために他者と生きた同期 同期会直後の訃報に接し



26期は、53歳の時に約30年ぶりに開催後、2年に1回の新年1月2日に開催してきたが、コロナで一服。4年ぶりとなったが、今回はもろもろ家族が集まって出席困難な年始から変え、12月29日(金)に執り行われた。「26期はやたら会場がリッチだなあ」との声も多く聞こえる中、また今回も『横浜ベイホテル東急』。39名の同窓生に、恩師に梅津先生、石川先生、迫先生、金子

好光先生にご出席いただいた。多くが4年前に顔を合わせた仲間だったが、向原彰秀はほぼ40年ぶりか？しかし皆「おっ、ムコウハラ。」とわかる。体形も全く現役当時の少女漫画から飛び出たようなスリムな美少年まま、髪だけがやや白くなっていた。

今回も山田真平の司会で進行する。4年前の開催以降逝去された恩師方、また3名の同期生に対し黙祷をささげた後、宴が始まった。同窓生すら60代半ば、だから恩師の皆様元気さにはアタマが下がる。迫先生のご指導のもと、体操も行う。2時間半におよぶ宴も、あっという間に過ぎる。その中で半数近い15名が、2次会に集結する。そのメンバーの中には中島拓も居た。「すっかり田舎の爺さんになっちゃったよ。みんなと標準語でしゃべれるかな？」と同期会出席コメントを寄せていた中島は、こしひかりと銘酒八海山で名高い魚沼で、脳外科内科医として豪雪のなか東京23区の倍に及ぶエリアにクルマを走らせ訪問診療を行うなど、体を張って地域の医療を担っていた。フットワークの軽さは診療に留まらず、料理・日本酒にワイン、また音楽をも愛し、2016年には「新しい地域医療の展開」として高一OBゼミにも登壇してくれた。

同期会後の2月には、障がいを抱えた子供たちを対象とした『ホワイトハンドコーラスNippon』が、ウィーンの国連で「第九」を合唱するという大イベントに同行医師としてご夫婦で随行。子供たちが、手と表情で表現する「手歌」(ルビ:しゅか)などで合唱する様子は中島のFacebookでも報告され、多くの同窓生が「さすが栄光生！」と絶賛していた。中島は同行医師として子供たちにそっと寄り添い、陰ながら支えていたという。苦労を笑いに替えるたくましさ、そして優しさで気配りの男だ。

その中島拓が、帰国直後の3月10日急逝した。訃報に接し、同期の山下純照は叫んだ。「そんな。あり得ない！年末の同窓会



で、僕のスピーチのあと寄ってきて、妻を亡くした僕の状態を心配し、両手でこちらの掌を包むようにして慰めてくれたんだ！」

3日後の通夜には中村徹・伴耕一、その翌日の告別式には成瀬卓也と山下、小生が駆けつけた。私は斎場に到着、奥さまの姿を見た途端涙腺が破裂。奥さまは「主人は学園をとっても愛し、誇りにしていました」と涙ながらも気丈に語られた。葬儀場の入口には「他者のために他者と生きる」と記された遺影が飾られていた。他者のために尽くすことが、当然のライフワークになっていたのだろう。

式は滞りなく進行したが、焼香が完了しても、多くの普段着の市民・患者さんと思われる皆さん何百人もが花を捧げ、列が途絶えない。中島がいかに地元の人たちに信頼され、慕われ、愛されていたかを物語っていた。参列者が絶えない光景を見た同期の皆が唖った。「誇りだ！」と。

帰りの浦佐駅で、94歳になるお母さまと妹さんに会う。お母さまは車椅子ながらも、いろいろお話を伺った。「あの子はね、病気がちだった私と主人を見て『僕が医者になって、お父さんお母さんの病気を治してあげるんだ』って。だから絶対栄光に入るんだと頑張ったのよ。ただ医者までの道は、いろいろ寄り道もした。でも雪深いこの地で開業するにも『僕は旭川育ちだから、こんな雪へっちゃらだよ』だって。拓は短かったけど、幸せな人生だったはず。やりたいこと、やりがいのあること、人のために頑張りがれたんだもの。私にはわかるのよ。私も拓の分、100まで頑張らなきゃね」。成瀬・山下・私の三人は代わる代わる、お母さまの手を固く握りしめたのだった。

拓の父は2期生で、拓は栄光二世の第一号。栄光精神は生まれた時から拓に伝わり、それを生かし地域医療を支えてきたのだ。拓よ、俺たちは君に会える日まで、君を忘れない！

島崎 裕之 (26期)

「多良間島」



google map から▲

多良間は宮古島と石垣島の間にある平坦な島で、一周しても一時間ほどの島である。宮古からフェリーに乗ると、3時間で多良間に着く。フェリー乗り場には多良間方言で男はビキドゥン、女はミドゥンと表示されていた。多良間は八月踊りが有名で、島外から多くの人が訪れている。旧暦の八月に行われるもので、芝居や組踊り、劇、歌や各種の舞踏が村の広場で朝から夜まで行われる。組踊りは中国からの冊封使を歓待するために、沖縄で演じられた芸能で、琉球の古語による台詞と歌曲、踊りを組み合わせた歌舞劇である。

1719年尚敬王の冊封を受けるときに、歓迎する席で初めて演じられた芸能であり、明治中期にその芸能が多良間に伝えられ、今日まで八月踊りとして行われている。

八月踊りは島の塩川と中筋の集落にわかれて三日間、各種の芸能を競い合う。集落の人々はこの日のために、かなり前から準備しており、小中学校の先生まで駆り出されて、歌や踊りを披露していた。村の人々はそれぞれ御馳走を作り、会場に集まって八月踊りを愉しんでいた。

多良間では一時、嫁不足を補うために、フィリピンから嫁を迎える人が生じたため、子供の数が増え、全国でも珍しい高出生率の島として有名になったことがある。多良間は砂糖、葉タバコ、南瓜や牛の育成が主に行われている。砂糖黍は3月に植えて、翌年の一月に刈り取る春植えと、7月に植えて翌々年の2月に刈り取る夏植えがある。

港にはシュンカニの母子像がある。1637年八重山地方には過酷な人頭税が課せられていた。沖縄より赴任した役人に当てが藁田むる芽をウェーンマと称した。役人は2、3年の任期で島を去っていつ

た。シュンカニの像は役人に与えられ、島に残された母子の像である。像の下には「主(シュ)が船(フニ)うしがよ、東(アガリ)ん立つ白雲(シラフム)たきよ」(あなたの船は去ってしまう、東の空には白雲だけが見えている)と記されている。

島の南にある普天間御嶽(うたき)では、ユタに息子の高校合格を頼む人がいた。ユタは祭壇の前で祈っていたが、訛りのある言葉なので、全く解らなかった。祈り終わると煮染めが、同席した私にも出された。この地方では、ユタは内地の神職にあたり、各種の神事を執り行っている。ユタは靈感のある女性になるものとされている。

安政4年(1857)蘭船ファンボッセ号はシンガポールに向かう途中多良間で座礁し遭難した。上院27名は筏で多良間に上陸した。島民は彼らを篤くもてなし、6月4日に宮古、那覇を経て長崎の出島に送り届けた。多良間資料館には難船の瓶、砥石、鎌などが展示されている。

岩手の善宝丸7名は江戸から帰る途中遭難して75日間漂流した後、安政6年(1859)に多良間に漂着した。島民は7名を53日間もて成し、郷里に送り届けた。古文書によりこの事実を知った関係者は、1976年に多良間に赴き報恩之碑を立てている。

池添博彦(8期)



多良間島は最も高い場所でも海拔34mの平坦な島である google map から ▲

未来EiKO募金

EIKO HIGH FOREVER FUND

栄光学園は、創立100周年にむかって、今後も時代のリーダーを輩出し続けることができるよう、【未来EiKO募金】を設立しました。母校のさらなる発展のため、未来のため、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

詳細は右QRコードよりご覧ください。▶



教育内容拡充
施設設備拡充
生徒の修学支援



学園便りから

進路情報 進路指導室から

大学入学共通テストは実施から4年目を迎えましたが、出題傾向に大きな変化はありませんでした。科目ごとの平均点の差も小さくなり、難易度も安定してきたようです。思考力・判断力・表現力を問うことを意識した問題が多く見られ、文章量は増加傾向にあります

が、多くの生徒はしっかり準備をして対応できていました。来年度から新課程の入試となるため、移行措置があるとはいえ、少し弱気になって志望大学を変更するケースも見られましたが、生徒たちは皆最後まで粘り強く頑張っていました。

国公立大学	2024		2023		2022		2021		2020		2019		2018		2017		
	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)									
東京大学	文科一類	6 (6)	6 (6)	5 (4)	10 (9)	7 (5)	6 (6)	11 (10)	16 (13)	10 (7)	6 (3)	14 (12)	10 (6)	6 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)
	文科二類	10 (10)	9 (9)	7 (5)	7 (3)	8 (7)	7 (7)	6 (3)	14 (12)	10 (6)	6 (3)	14 (12)	10 (6)	6 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)
	文科三類	3 (3)	1 (1)	3 (1)	6 (2)	7 (5)	5 (2)	6 (4)	6 (2)	6 (1)	3 (1)	4 (6)	2 (6)	1 (6)	1 (6)	0 (0)	0 (0)
	理科一類	23 (23)	18 (18)	23 (20)	21 (13)	18 (12)	29 (17)	22 (13)	30 (21)	25 (17)	3 (3)	9 (1)	7 (4)	4 (3)	1 (7)	4 (3)	0 (0)
	理科二類	4 (4)	2 (2)	7 (7)	10 (4)	6 (4)	7 (5)	8 (3)	9 (1)	7 (4)	3 (9)	1 (9)	1 (7)	4 (3)	3 (1)	6 (1)	0 (0)
	理科三類	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	4 (3)	3 (1)	6 (1)	0 (0)
	推薦	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	47 (47)	37 (37)	46 (38)	58 (35)	47 (34)	57 (39)	54 (34)	77 (50)	62 (38)	3 (3)	9 (1)	7 (4)	4 (3)	3 (1)	6 (1)	0 (0)	
一橋大学	10 (10)	9 (9)	9 (3)	8 (8)	9 (4)	10 (9)	11 (6)	10 (7)	6 (3)	3 (1)	5 (2)	1 (1)	2 (1)	1 (5)	2 (0)	0 (0)	
東京工業大学	6 (6)	3 (3)	14 (10)	14 (9)	4 (2)	5 (4)	14 (6)	6 (4)	2 (1)	1 (5)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
北海道大学	8 (5)	4 (4)	2 (0)	11 (5)	4 (3)	5 (4)	7 (4)	7 (1)	5 (2)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東北大学	2 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	5 (1)	4 (2)	3 (2)	3 (2)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
京都大学	7 (7)	4 (4)	6 (3)	9 (5)	4 (2)	6 (5)	7 (5)	3 (1)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
大阪大学	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東京医科歯科大学	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	5 (5)	4 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
横浜国立大学	5 (3)	3 (2)	6 (5)	5 (3)	10 (4)	12 (7)	13 (11)	7 (6)	13 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
横浜国立大学	5 (4)	2 (2)	5 (4)	10 (6)	4 (3)	5 (4)	4 (3)	8 (5)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
その他(医歯系)	11 (10)	5 (4)	11 (6)	8 (1)	14 (7)	13 (7)	10 (5)	13 (8)	13 (7)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
その他(上記以外)	18 (14)	12 (9)	13 (8)	17 (9)	16 (8)	10 (3)	11 (7)	9 (1)	11 (5)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

私立大学	2024		2023		2022		2021		2020		2019		2018		2017	
	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)	総数	現役 (進学)
慶應義塾大学	文	3 (0)	2 (0)	2	2	3	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1
	経済	11 (3)	4 (2)	14	19	21	21	29	31	19	2	2	2	2	2	2
	法	4 (2)	3 (1)	4	3	5	3	4	2	2	1	1	1	1	1	1
	商	12 (2)	9 (2)	7	17	10	9	7	13	8	3	3	3	3	3	3
	理工	33 (9)	12 (3)	43	37	24	40	37	32	35	3	3	3	3	3	3
	総合政策	3 (1)	0 (0)	2	6	1	3	1	2	3	1	1	1	1	1	1
	環境情報	3 (0)	2 (0)	1	7	2	1	0	4	2	1	1	1	1	1	1
	薬	3 (0)	2 (0)	2	3	2	1	4	3	2	1	1	1	1	1	1
	医	5 (2)	4 (2)	2	3	1	5	3	4	7	1	1	1	1	1	1
	合計	77 (19)	38 (10)	77	97	69	85	86	93	79	3	3	3	3	3	3
早稲田大学	政治経済	22 (4)	14 (4)	17	19	20	9	14	21	18	1	1	1	1	1	1
	法	9 (1)	7 (1)	12	14	9	6	7	15	9	1	1	1	1	1	1
	文	3 (0)	1 (0)	1	1	4	4	7	1	6	1	1	1	1	1	1
	文化構想	3 (1)	1 (0)	0	2	3	5	2	3	0	1	1	1	1	1	1
	教育	7 (1)	1 (0)	6	7	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	商	7 (3)	6 (2)	2	7	6	3	4	10	7	1	1	1	1	1	1
	国際教養	1 (0)	1 (0)	3	1	0	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1
	基幹理工	12 (3)	8 (2)	17	15	18	14	9	9	8	1	1	1	1	1	1
	創造理工	6 (0)	2 (0)	12	9	3	9	15	14	11	1	1	1	1	1	1
	先進理工	9 (1)	4 (1)	13	12	7	17	19	12	17	1	1	1	1	1	1
社会科学	4 (0)	2 (0)	6	6	3	1	6	10	3	1	1	1	1	1	1	
その他	4 (0)	2 (0)	4	7	5	3	4	3	2	1	1	1	1	1	1	
合計	87 (14)	49 (10)	93	100	81	74	91	101	85	3	3	3	3	3	3	
上智大学	22 (6)	9 (5)	35	36	29	14	22	7	4	1	1	1	1	1	1	
東京理科大学	38 (0)	19 (0)	51	47	39	31	45	43	44	1	1	1	1	1	1	
中央大学	19 (2)	9 (2)	26	17	30	22	13	37	11	1	1	1	1	1	1	
立教大学	15 (2)	2 (0)	14	12	10	8	4	4	4	1	1	1	1	1	1	
明治大学	27 (2)	10 (2)	40	43	39	40	43	49	38	1	1	1	1	1	1	
その他(医歯系)	28 (5)	11 (2)	27	17	14	31	13	24	25	1	1	1	1	1	1	
その他(上記以外)	76 (23)	12 (2)	112	58	53	70	58	59	25	1	1	1	1	1	1	
海外*人数	1 (0)	1 (0)	1	2	2	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	

23.12.26-29

沖縄ゼミ西表島研修旅行

2日目の朝に一日目に仕掛けたガザミのわなを回収した。簡単な構造のわなだったが3匹の大きなガザミなどが取れて島で日々生活している人たちの工夫のすごさが分かった。その後、事前に仕掛けた網から魚を取り外す作業を行った。20種類以上の魚が網にかかっている、また普段見ることがないような魚もあり、沖縄の生態系の凄さを感じた。3日目は実際に猪の鬩を作って仕掛けた後にガイドの山下さんが事前に仕掛けて下さった鬩を点検した。鬩づくりで僕はできなかったが山下さんが簡単にやって見せた後に他のみんなが山刀の扱いに苦戦しているのを見て島で生活している人の凄さが分かった。また、今回は幸運なことに小型ではあったが猪がかかって、解剖を見させていただき、生き物を食べるということのありがたさを実感することができた。

今回の研修旅行では魚や猪、蟹や山草などの現地でも取れたものを沢山食べさせていただき島での自然と生活の深い結びつきを体感できた。普段絶対にすることがないようなことが沢山出来てとても楽しむことができた。

73期 M君



23.11~12

テニス選手大会 団体戦3位

神奈川県私立中学校テニス選手権大会<冬季>(団体戦)が2023年11~12月にかけて行われました。栄光からは中3(75期)26名、中2(76期)13名の計39名がA~Dの4チームで参加しました。Bチーム、Dチームは1回戦で、Cチームは2回戦で敗れてしまいましたが、Aチームが山手に3-2、公文国際(第1シード)に3-2、浅野に3-1、と勝ち進み、準決勝で中大横浜に0-3で敗れはしたものの、見事、第3位となりました。私学32校出場での第3位は立派な結果だと思います。(顧問:高田暁)

この団体戦で一番記憶に残っているのは、2回戦での第1シードの公文国際の試合である。格上の選手ばかりがいたので、泥臭くてもいいから勝ちにこだわろうとプレーした。勝った瞬間は本当にテニスをやっていたよかったと思った。準決勝では負けてしまったが、この3位という順位と今回の経験は忘れられないものとなるでしょう。最後に、ここまで来られたのは応援してくれた保護者の皆さんや朝から監督やレフェリーをしてくださった高田先生などのご協力があったのもなので本当に感謝したいです。

75期 A君



23.12.29-31

釜ヶ崎体験活動

実際に自分の眼で見ていない事を先入観や思い込みで「きっとこうだろう」と決めつける事は珍しいことではありません。偏見であったり、差別につながることもしばしばあります。今回の活動を通してどんなことも実際に体験することが一番大事だと感じました。私は釜ヶ崎地区に対して「近寄らない方が良い場所」というレッテルを貼り付けていました。今考えれば、周りの情報や声に流され自分で考えてみるという行動を避けていたのだと思います。しかし実際に私が訪れた釜ヶ崎は予想とは遥かに異なっていました。まず、街に住んでいる皆様の様子です。街の人々は、荒っぽくて他人と関わらないという私の印象とは正反対で寧ろとても温厚で、談笑することが大好きな人がほとんどでした。街全体で助け合って生きていくことを重要視していました。炊き出しの際も、「ありがとう」や「美味しい」などの言葉に幾度となく助けられました。次に町内の様子です。新宮駅前周辺の労働センター周辺は粗大ごみで覆われており一瞬足がすくむことはありましたが、釜ヶ崎地区の内部は予想とは裏腹に、とても綺麗で空き缶などのごみはほとんど見受けられませんでした。

73期 H君



23.12.14

NTTテクノクロス訪問

実際に作っている商品を紹介してもらいました。「hitoe® ウェアラブル送信システム」という製品です。この製品は消しゴムくらいの大きさで、心電図や、どれくらいの運動をしているかなどを測ることができます。ベルトや服につけることができ、得た情報をスマートフォンにリアルタイムで表示することができます。簡単に測ることができる上に、わざわざ病院に行かなくても異常を発見できるのでとても便利だなと感じました。

最後に生成系AIを使用してプログラミングを行う体験をしました。chatGPTのような対話型AIに「〇〇というプログラミング言語で簡単な計算機をつくりたいです。どのように書けばいいですか。」のように聞き、得られた結果をその言語で書くと、四則演算などができる簡単な計算機を作ってくれます。そして、改善したい点などをまたAIに聞いてどのように書き直すかを教えてもらい、実行するという流れを繰り返し、すこしずつ便利にしていきました。AIに聞くことですぐに結果が得られたことに驚愕し、便利な時代だと感じました。

74期 N君



24.2.15-18

高2 修学旅行 沖縄



修学旅行の概略

- 1日目 班別行動、平和講話
- 2日目 平和学習(沖縄本島中南部)、班別行動
- 3日目 選択コース(国頭村安田コース、工芸コース、コザコース)
- 4日目 選択コース(沖縄市および周辺)、道の駅かでな

まずは、今回は天候にも恵まれ、温かい地元の人とも出会い、思う存分学ぶこと、楽しむことができました。沖縄修学旅行が無事に終わり安堵するとともに、これまで支えてくださった先生方、委員たち、JTBの方、沖縄の方々、本当にありがとうございました。

さて、準備から振り返ってみると委員会が始まったのは1学期最後のあたりだったと思います。31人という前例のないくらいの大所帯でしたので分担して余裕をもって素早く行えたことは感謝しかありません。提出された班別行動計画表を眺めつつ、みんなどんな感じに楽しむのかなあと妄想しながら準備していた日々、しおりの製本をした日、あと何日のポスターを制作した日々、徐々に2月15日が近づいて行くことに若干の不安と大きな喜びを感じながらの委員会活動だったと思います。特に今回はコロナ禍後、初めてのいつもの沖縄修学旅行ということで委員の中でも特にしおり班は苦勞してしおりを完成させてくれたのだと感じています。一方、73期全体と

してはあまり沖縄修学旅行が近づいていることに気づいていないのではと感じ、大変焦っておりました。そんな中、例年は委員が少なく、しおりなどで手一杯だそうですが幸いにも今年は31人の大所帯となりましたので、雰囲気づくりにも励むことができ、クイズや「あと〇〇日」のポスターを作成することができたのは今年ならではの活動なのではないかなと思います。そして迎えた2月15日、私は始発で羽田空港に向かったのですが、かなり多くの生徒が似たようなことをやっていて驚きました。そしてみんなで眺めた日の出は忘れられません。さいごに、“ほぼ”時間通りに動いてくれた73期のみなさんのおかげで無事に修学旅行を終えることができました、ありがとうございます。そして、来年に沖縄に行く74期のみなさんはぜひとも沖縄修学旅行委員かコザ栄光祭実行委員になって一味違った修学旅行を楽しんでくれたらと思います。

私は73期の雨男に勝ちました。74期に雨男がいるのかは知りませんが来年の委員長は勝てるように頑張ってください。 73期 K君



24.2.15-17

中3 学年旅行 京都

長い長い入念な準備を終え、ついに迎えた当日ですが、旅行にはトラブルがつきものと言いますか…。

初日、集合時間になっても来ない生徒がいるという事件が起こりましたが、無事に新幹線に全員乗り込むことが出来ました。新幹線を京都駅で下車し、その後のクラス別行動では清水寺、三十三間堂、銀閣寺と行き、予定通りに終了しました。

二日目は班別行動では、京都をたいへん満喫することが出来ました。が、夕方に靴の取り違え事件が発生しました。それが解決するまでは旅行委員は眠れません。必死の捜査の結果、探している靴のブランドを間違えていたことが分かりましたが、新たな靴の取り違え事件が判明。謎が謎を生む展開でしたが、2つの取り違えが同時に解決するというまるでミステリー小説のような幕切れでした。

三日目のコース別行動は、事前に調べていた地図と実際の様子が変わっていたために、いきなり危機に陥ることになりました。幸い添乗員の方の地図アプリのおかげで、行程通り終了しました。

行程後、全員が予定通りに京都駅に集まり、終礼を行いました。終礼中、何回も時計を見ていたにも関わらず、時間がギリギリという怪奇現象が起きましたが、無事に新幹線に乗り込むことが出来ました。

75期 Y君



24.1.16

中2 社会科授業 鎌倉

鎌倉特別授業に行く前から、円覚寺と建長寺にはとても興味があった。ただ、鎌倉に行く機会があまりなく、「いつか行ければいいや」と思っていた。鎌倉特別授業の存在を知り、円覚寺と建長寺では今回特別に拝観料がかからないと聞いて、これは行くしかない！と感じ、念願の鎌倉の寺巡りが決まった。

円覚寺に行ってまず感じたのは、その大きさだ。大した予備知識もないまま行ったので、有名な円覚寺舍利殿がドンとあるくらいだと思っていた。しかし実際に行ってみると、舍利殿に着くまでもかなり歩き、途中にも見るべき場所がたくさんあった。

建長寺には半僧坊というものがあると聞いて行くことにした。実際に歩いていると新海誠の映画にでも出てきそうな鳥居を見つけた。後になって感じたが、鎌倉には全体的に「君の名は。」に出てきそうな場所が多い。鳥居をくぐったあとは長い階段をずっと登った。登った先にあった景色は想像を超える美しさだった。その景色を見ながら少し休憩していると、誰かが「山頂まで5分だってよ！」と言ったので、山頂へと向かうと、さっきよりもすごい景色が待っていた。青い相模湾と遠くに見える富士山。キツかった階段を含め、とてもよい経験になった。

76期 H君



全国10位！

24.3.1

72期卒業式 卒業生183名

先日、同窓会の設立70周年記念のパーティーがあり1期生から最近卒業した大学生までたくさんの卒業生が集まっていた。そういう場では、必ずと言っていいほど初代校長であったグスタフ・フォス先生の話が出できます。実は、私自身は栄光学園に勤める前に、フォス先生に会ったことがあります。上智の学生だった私は、大学構内のイエズス会の修道院の食堂でコップ洗いと給仕のアルバイトをしていました。その頃、フォス先生は栄光学園校長を退任してから脳出血を患い、上智の修道院でリハビリをしておりました。先生はまだ握力が充分ではなく、先生が食堂にいらっしやると、柄の太い特製のナイフとフォークをアルバイトの私が用意してお出しすることになっていました。ところが数カ月ほどした頃、先生はきっぱりと「今日からもう、それは使わない」とおっしゃいました。お褒めするつもりで「すごい回復力ですね」と申しあげたら先生は私の目を眼鏡の奥からキッと見据えて、こうおっしゃいました。「回復力？いや、回復努力だ！」。以来、「努力」という言葉は、フォス先生のことを思い出すたびに欠かすことのできない言葉になりました。あの時のフォス先生の言葉は、栄光学園の教育の“マジス(より一層)”の志をよく表していると思います。72期のみなさんが、栄光学園の卒業生として、垂直にも水平にもマジスを展開されることを心から期待します。



24.3.22-24

ディベート連盟杯 全国10位

2024年3月22日(金)から24日(日)まで、代々木オリンピックセンターで開催された第13回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯に、73期の2名と74期の1名が神奈川県代表の1校として参加し、全国10位になりました。予選では2勝2敗の全体16位で、予選9位から16位のチームで戦うトーナメント2に進出しました。トーナメント2では、準々決勝と準決勝を勝ち、決勝まで駒を進めましたが、最後敗れて全国10位でした。(引率:片居木、クーム)

英語部としての最後の試合であったが、栄光学園英語部らしき満載の経験となり、最高の引退で英語部人生に幕を閉じることができた。そもそも、表彰された学校の中で、大会当日の深夜にトランプに勤しみ、寝不足であったのは栄光生だけであろう。そんな僕たちではあったが、紆余曲折あった中で、全国10位という結果を残すことが出来た。賞状に加えて、10位から授与される盾もいただいた。正直、尊敬する英語部の先輩たち(特に、一昨年は優勝、昨年度は3位)が経験したのと同じ土俵で戦うことが出来たことに驚けるとともに、とても嬉しい気持ちだ。栄光での部活動を通して、全国大会で戦えるレベルにまで達させていたことがとても嬉しく思う。

73期 H君



24.3.16

科学の甲子園 全国大会連覇

2024年3月15日～18日の4日間、茨城県つくば市の「つくば国際会議場」と「つくばカピオ」で開催されました。3月17日には表彰式が行われ、栄光学園が科学の甲子園史上初の2連覇を成し遂げました。実技③は他の実技競技とは異なり事前に課題が発表されるので、当日に向けて長期間準備をすることができる。今年の競技は「バルーンフェスタ in つくば」というもので、防災用のアルミシート二枚とゼロハンテープを使って気球を作り、ヒートガンで熱風を導入して飛ばす競技だった。本選では、いざ気球をふくらまし始めると、気球は予選の発射場所で計算した完膨時間より大幅に早く膨らみ切ってしまった。重りの再調整は許されていなく、キャプテンがヒートガンを発射前1秒間だけ停止する英断を下せたことが、結果的には優勝につながった。

科学の甲子園に向けて試行錯誤を繰り返す日々は非常に楽しく、決して忘れられないものになりました。科学、特に工作競技はやる気があるのと言います。共に頑張ってくれたチームメイト、顧問の塚本先生には感謝しかありません。

74期 F君



24.4.9

78期入学式

新入生の78期の皆さんには、栄光学園の「栄光」と、今日の「出逢い」と、「選び」についてお話ししたいと思います。

まず栄光学園のいう「神の栄光」とは一人一人の人間の素晴らしさが輝き出ることを意味します。聖イレネオは「神の栄光とは、生き生きと生きる人間である」という言葉を残しています。つまり、皆さん一人一人が生き生きと生活できる学校を目指しているのが「栄光学園」である、ということです。

そして今日、私たちはこの場で「出逢い」を経験しています。人間同士の出逢いはお互いの中で起こることで、私とあなたの両方に責任があります。栄光学園の先生方や先輩たちは、あなた方78期生に心を開いて迎えます。皆さんも心を開いて、自分から栄光学園での「出逢い」を生かすようにしてください。

最後に「選び」についてです。中学入試で皆さんは栄光学園を受験することを選んでくれました。そして今、栄光学園が78期生の皆さん一人一人を選びました。これからの栄光学園をつくっていくのは皆さんです。78期生には、失敗を恐れずに、人生の土台を築く6年を過ごして欲しい。よりよい栄光学園を在校生・教職員と一緒につくっていきましょう。



同窓会 information

2024年度 同窓会定期総会報告 (1)

【日時】2024年5月11日(土)13:00～14:55

【場所】アロイジオ会館、Web会議(ZOOM利用)の併用

【出席者】(カッコ内の数字は卒業の期)

会長:河原光博(37)

副会長:高橋英治(28)、大須賀喜彦(39)

会計監事:原田清明(24)

事務局長:前山茂雄(13)

常任委員:<部長>米山操(30)、村井基彦(37)、近藤亮介(45)

<副部長>川村貞知(37)、大和智明(39)、米村俊彦(43)、

前川卓(1)、鈴木宙明(4)、河相 董(8)、八木英樹(9)、青木嘉光(10)、大島弘尚(14)、早川光敏(18)、飯野習一(19)、関根修一(20)、名執宗彦(22)、平島寛(24)、島崎裕之(26)、渋谷直人(27)、中路喜之(29)、木村浩一郎(30)、増木洋介(30)、山田宏幸(30)、宮崎一秀(31)、老岐太(32)、加藤太一(37)、渡邊耕太郎(38)、川邊賢一郎(48)、石田明久(51)、渡辺丈(69)

(以上役員 35名)

支部役員:平岡慎雄(インディアンクラブ、17)、東佳樹(清水建設栄光会、27)、古谷哲夫(物理部OB会、21)、水島一郎(バドミントン部OB会、28)、坂本隆(サッカー部OB会、17)

(以上支部役員 5名、除く(兼)出席者)

各期委員:佐伯知良(3)、小椋修二(4)、中村正二(5)、牧野文勝(11)、小林一(15)、杉浦俊紀(16)、佐野 元(29)、前田真孝(29)、本多昇(34)、酒井竜之輔(61)、関根有悟(71)、真崎海音(71)、奥井颯太(72)、神谷洗希(72)、木尾峻郎(72)、澤村義景(72)、宮下拓己(72)

(以上各期委員 17名、除く(兼)出席者)

総計 57名 …①

議決権行使書による回答者75名 …②

有効投票者数合計 132名 …①+②

来賓:柳下修校長

議長:出席委員の互選により、増木洋介常任委員(30)

会長挨拶(河原光博会長)

昨年の総会で会長に選任頂き執行部のメンバーも一新した。私は37期でフォス校長を知らない世代であり、新しい時代の執行部として1年が経った。

昨年度は同窓会70周年ということで2つのイベントを行った。一つ目は卒業2年目である70期を中心とするスポーツ大会と懐かしの先生による授業を学園で行った。若い世代が中心となって運営してもらい大盛況だった。2024年2月には70周年記念パーティーを行い、多数の来場を頂き感謝申し上げたい。150名は来ていただ



きたいと思っていたところ、想定の倍となる会場のキャパシティ上限の約300名に来場いただいた。1期から70期代まで各世代が集まる素晴らしい会となった。

一昨年、昨年と会費についての特別委員会を設置し検討してきた。これを踏まえて会費の納入方法や会費の水準について施策を実行していく。今年度は紙の会員名簿を発行しなくなって10年となる。EACONが始まって10年の節目となる。EACONの機能向上を果たす年としたい。

本日は72期の卒業生も参加いただいている。70周年記念パーティーも特別委員会も若手のメンバーに参加いただいている。新しいメンバーを加えて、幅広い世代の会員に参加いただき楽しめる同窓会にしていきたいので、引き続きご協力ご参加をお願いしたい。

学園校長挨拶(柳下修校長)

4月から校長に就任した29期の卒業生の柳下です。同窓会には普段から学園を支えていただきお礼申し上げます。自分自身ソフトテニス部OB会の事務局になっている。ソフトテニス部では、毎年1月4日に集まってOBと現役の交流をしている。

栄光学園は2023年度はコロナ以前の活動をおそろおそろ取り戻した。2024年度はさらに以前の活動を取り戻している。まだ混乱も見られるが、新しい形で運営できるように思う。

未来EiKO募金にも、多くの支援を頂いており、感謝申し上げます。引き続き財政は厳しいが、大講堂や第1体育館、旧修道院をどう補修していくかに取り組んでいる。引き続きご支援をお願いしたい。

教員としての最後の数年間を学園のために尽くしていく。昔のことを知っているOBの皆さまに教わりながらやっていきたいと思うので、ご指導ご鞭撻をお願いしたい。

第1号議案 2023年度決算承認に関する件

- (1)2023年度収支計算書
- (2)貸借対照表
- (3)監査報告書

(1)2023年度収支計算書、(2)貸借対照表について、近藤財務部長が説明を行った。概要は以下の通り。

2023年度は、予算においては▲4,331千円の赤字を見込んでいたところ、決算は当期収入計11,927千円、当期支出計14,615千円となり、差し引き収支▲2,688千円の赤字決算となった。

収入は、追悼ミサのご遺族から合計80千円のご寄付をいただき雑収入が予算比+108千円となったこと等により、当期収入計で予算比+339千円となった。

支出は、総務費は合計で予算比▲133千円、事業費は合計で予算比▲1,170千円となり、当期支出計で予算比▲1,304千円となった。これは、コロナ禍が明けリアルでの活動が増えたため関連する支出が増加した一方で、改めて必要な支出を見直すこと

により支出を抑えられた項目が多かったこと等による。

支出のうち総務費については、リアルでの活動が増えたこと等に伴い給与(+202千円)、交通費(+20千円)や会議費(+37千円)等の実績が予算を上回っているが、器具備品費(▲197千円)については買い替えが必要な器具備品を再度見直したこと、また補修費(▲327千円)も会費納入状況が確認できるようにするためのEACONの機能追加について執行部内で詳細に検討したことにより、予算よりも実績を大きく抑えることができた。

事業費については、支部・活動グループ等支援費(+166千円)はコロナ禍が明け同期会の開催が増えたこと等により、また寄付金は追悼ミサのご遺族からの寄付全額を学園へお渡ししたことにより、実績が予算を上回った。予算よりも実績が少なかった項目の主な要因は、会報印刷費(▲198千円)やホームページ運営費(▲285千円)は業者との交渉、編集取材費(▲100千円)、コンテンツ制作費(▲257千円)、栄光OBフォーラム運営費(▲280千円)はコロナ禍の影響等で一部活動が制限されたこと、70周年記念式典運営費(▲488千円)は想定よりも出席者が多く会費収入が増えたこと等である。

その結果、貸借対照表の資産の部合計は50,355千円となり、翌年度以降の会費の前受金8,894千円を差し引いた正味財産は41,461千円となった。

続いて、(3)会計監査報告書につき、原田会計監事から監査報告書にある通り、2023年度の栄光学園同窓会収支計算書及び貸借対照表の各事項について監査を実施し、その内容は適正なものと認めるとの報告があった。

上記説明を受け、増木議長が第1号議案に関する質問・意見の確認を行ったのち、第1号議案の(1)、(2)、(3)について、議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第1号議案は承認された。

第2号議案 2024年度事業計画承認に関する件

大須賀副会長が、2024年度事業計画について説明を行った。概要は以下の通り。

3年以上に亘るコロナ禍がようやく終息に向かい、2024年度は当会も平常の活動に戻り、種々の課題の解決に向け取り組む年となる。まず、1986年以来40年近くも変わっていない同窓会費について、2022年度から財務検討特別委員会で検討してきた結果も踏まえ、変革のスタートを切る年とする。今後も永続的に当会を円滑に運営していくことを前提に、昨今の物価上昇を始めとする会運営コストの増大、会費納入率のさらなる向上等の各種課題を踏まえた必要な諸施策を、今後数年で実現していく。

本年2月に開催した「栄光学園同窓会70周年記念パーティー」を皮切りに、2020年度から3年間は叶わなかった対面でのイベントを再開していく。長年開催している歴史文学散歩や同窓会追悼ミサ等の事業を着実に継続しながら、新たな事業展開を模索していく。視点として、コロナ禍の3年間で培った“オンライン”のノウハウを存分に活かし、対面とリモートのメリットを活かしたイベント等を企画・検討していく。

また、従来の事業形態に加え、「栄光ヒミツキチ」など20代～40代の会員の要望・アイデアを自分たちがメンバーとして企画・実行する活動の後押しをすることで、同窓会活動のすそ野を広げていく。引き続き同期会・支部の活性化を促すとともに、必要な支援を行う。各委員会、支部会、イベントなどをきっかけとし、若手委員、



幹事の発掘に努める。

同窓会報The Eiko Alumniは節目の100号を発行し、フルカラー化し新たなスタートを切っている。引き続き、The Eiko Alumni・同窓会HP・同窓会SNS等の各種媒体を活用した情報発信を行っていく。また、同窓会70周年を機に企画・製作した同窓会グッズを、さらに魅力あるラインナップとすべく引き続き検討していく。

オンライン会員名簿EACONは、2014年の運用開始から10年の節目を迎えている。会員名簿の発行も2014年が最後となっており、現在の会員名簿データベースであるEACONについては、絶えずレベルアップはしているものの、各種の課題も出てきている。同窓会組織の根幹である会員情報の「維持管理と利活用」について、10年の節目を迎える今年度、あらためて振り返り今後に向けた課題認識と解決に向け検討をスタートする。

イエズス会校4校同窓会の共同イベントについても、各校同窓会と連携し実施する。

学園のアーカイブ情報の整理に引き続き協力するとともに、アーカイブ情報のホームページ掲載などもさらに進めていく。

学園、後援会、姉妹校同窓会との連携を一層強化するとともに、学園の「未来EiKO募金」についても、趣旨を踏まえ、引き続き広報活動等への協力を実施していく。

議案書に沿っての、財務部、事業部、広報部、総務部の個別の事業計画の説明を受け、第2号議案に関して以下の質問・意見があった。

報告1:サッカー部OB会では、JJHAFでこれまで31回、昨年秋にも4校対抗戦を実施している。同窓会にはあまり報告していなかったかもしれないが、今後は同窓会に報告を行ないたい。今年11月17日に上智福岡主催で福岡で対抗戦を行う予定。ご支援を頂きたい。

質問1:財務部について、前年度では再度納入を依頼したという報告があるが、それによりどのくらいの納入があったのか。

回答(近藤財務部長):具体的な人数は手元にはないが、過年度会費収入から推計すると2000人程度の依頼に対して100人前後の支払いがあったかと思われる。

意見1:事業計画に関して意見を申し上げる。同窓会には競争相手がいないが、比較対象となるのは、同じイエズス会兄弟校の同窓会である。例えば、六甲の同窓会は、地元根付いて同窓会活動を支える卒業生がいるが、栄光の卒業生には、そうした方は少ない。また、栄光は田浦から大船に移転したこともあり、田浦時代の卒業生は、いまの学園の外形的な姿に郷愁を感じないことも事実である。同窓会の運営にあたっては、大船世代だけでなく、田浦時代の上の世代の卒業生にも幅広く意見を聞いて欲しい。

2024年度 同窓会定期総会報告 (2)

回答(河原会長): 広い世代の意見を聞きながら、同窓会の目的にある広聴をしながら、同窓会を運営していきたい、引き続き貴重な意見をお願いしたい。

質問2: JJHAF共同イベントについては、どのような場でどのようなプロセスで企画を進めていくのか。何かアイデアがあれば、栄光の同窓会に伝えればよいのか。

回答(大須賀副会長、河原会長): JJHAFの関東支部を中心にイベントを企画するなどしている。4校の校長に集まっていたくイベントするなどしている。2年前には、4校の卒業生である大学生を呼んで就職向けのイベントをするなどしている。4校集まって、栄光以外の他3校については関東支部が中心となり、企画を練っている。アイデアがあれば栄光同窓会に寄せて欲しい。

意見2: 会費未納者の多さがマイナスの収支の原因となっている。自分は既に会費免除となっているが、75歳以上で2500円を払えない人がどれほどいるのかと思う。75歳以上の会費免除の是非について検討してほしい。また、EACONについては、アラムナイで利用促進を行なっているものの、活用しているという方は自分の世代では周りにいない。例えば、同期の名簿だけを1枚ものの資料としてアラムナイに同封するなどしたらどうか。

回答(河原会長): 会費免除については、ありがたいことに75歳を超えても支払いたいという声を多数いただいている。一方、一律に会費を頂くのもどうかという意見もあり、本日の会則の議題としているので、審議頂きたい。EACONについては、引き続きアクセスを容易にすること、会員情報の更新が進む点に関して検討を行ないたい。

意見3: 自分はEACONを便利に使っているのですが、世代により捉え方は異なると思われる。

質問・意見聴取の後、増木議長が第3号議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第3号議案は承認された。

第3号議案 2024年度収支予算案承認に関する件

近藤財務部長が2024年度収支予算案について、議案書の18ページから19ページに基づき説明を行った。概要は以下の通り。

予算案は、各部が2024年度事業計画案で策定した事業に予定される費用を見積り、それらを合計して作成している。収入については、4年に一度10,000円を納入する4グループ制を

2023(令和5)年度収支計算書					
自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日					栄光学園同窓会
(単位:円)					
収入の部					
科 目	予 算	決 算	差 異	備 考	
1.前年度繰越金	53,044,382	53,044,382	-		
2.当期収入					
入会金収入	534,000	534,000	-	71期入会金等3,000円×178名	
会費収入	11,000,000	10,915,000	△ 85,000	15期～71期会費収入	
過年度会費収入	800,000	905,000	105,000		
受取利息収入	1,000	281	△ 719	定期預金等の利息	
雑収入	5,000	113,240	108,240	寄付金等収入	
前受金収入	3,300,000	3,711,500	211,500	72期183名入会金、4年分一括振替前受	
(調整勘定)					
前期末前受金	△ 4,251,300	△ 4,251,300	-		
当期収入計	11,588,300	11,927,521	339,021		
収入の部合計	64,632,682	64,971,903	339,021		
支出の部					
科 目	予 算	決 算	差 異	備 考	
1.総 務 費					
総務費	2,300,000	3,002,711	202,711	増木議長、事務局長給料	
通信費	550,000	526,441	△ 23,559	郵便料、電話料等	
交通費	450,000	470,991	20,991	役員会、事務局長交通費等	
印刷費	700,000	808,090	108,090	各種印刷(会費請求書、定款選書等)	
事務用品費	120,000	132,056	12,056	コピー用紙、インク、封筒等	
会費徴収費	300,000	337,915	37,915	定期給金、会費会等	
庶務費	500,000	600,798	100,798	香典、生花代等	
器具用品費	200,000	2,160	△ 197,840	PC周辺機器購入	
手数料	450,000	419,088	△ 30,912	振込手数料、フォゲソング会社等	
雑 務 費	400,000	72,050	△ 327,950	EACON機能追加費用	
雑 費	50,000	64,002	14,002		
手 当 費	50,000	-	△ 50,000		
小 計	6,570,000	6,436,302	△ 133,698		
2.事 業 費					
会 報 印 刷 費	1,900,000	1,701,027	△ 198,973	栄光アラムナイ92号-100号印刷費	
栄 光 誌 費	1,600,000	1,668,940	68,940	栄光アラムナイ増設費	
播 音 録 音 費	100,000	-	△ 100,000	栄光アラムナイ及びJHF掲載記事取替費	
ホームページ運営費	1,200,000	914,154	△ 285,846	同窓会ホームページ、EACON業務委託費	
コンテント制作費	800,000	242,220	△ 557,780	同窓会公式グッズ制作費等	
ホーム・コミュニティ運営費	300,000	360,546	60,546		
支部・活動グループ等支援費	700,000	866,036	166,036	同窓会補助、EACON推進補助等	
CRゼミ運営費	100,000	148,000	48,000		
栄光OBフォーラム運営費	300,000	20,000	△ 280,000	リモートでの開催	
70周年記念式典運営費	2,000,000	1,511,652	△ 488,348		
JJHAF等活動費	150,000	166,350	16,350		
同窓会記念品製作費	250,000	250,690	690	72期卒業生お祝い記念品	
寄 付 金	250,000	330,000	80,000	東京マールインズ協会支援等	
小 計	9,350,000	8,179,615	△ 1,170,385		
当期支出計	15,920,000	14,615,917	△ 1,304,083		
3.次年度繰越金	48,712,682	50,355,986	1,643,104		
支出の部合計	64,632,682	64,971,903	339,021		
収 入	64,632,682	64,971,903	339,021		
支 出	64,632,682	64,971,903	339,021		
収 入 支 差	△ 4,331,300	△ 2,688,396	1,643,104		

廃止することによる前受金収入減少の影響が大きく、前期よりも減少すると見込んでいる。支出については、前期から引き続き同窓会活動の活性化を計画していることもあり、各部の予算が増加している。具体的には、総務費は前期の実績をベースに、昨今のインフレ等を勘案して通信費や手数料等について増額を見込んでいる。事業費も、OBフォーラム等のイベントや、アラムナイ及びホームページ運営に係る費用を中心に、前期実績よりも予算を増額している。また、70周年記念式典の運営費がなくなる一方で、従前から3年に1度発行している会員リストの印刷費を予算化している。これらの結果、当期収入計10,735千円、支出計16,400千円の積極的な予算案となっている。

上記の第3号議案に関して以下の質問・意見があった。
質問3: 従来は卒業時に4年分を支払ってもらっていたが、毎年請求の場合、卒業時はどうするのか。また、過年度の未納分についてはどうか。栄光卒業時に支払口座登録をする場合、親の口座になったりしないかとか、就職の際には口座が変わ

る等の問題も生じるとも思う。また、EACONの機能向上について具体的に決まっていれば教えて欲しい。

回答(近藤財務部長): 卒業時の会費納入については、従前どおり4年分を前受金として頂く。口座登録については、会費納入方法は口座引落を中心にしたいため、なるべく早めに登録してもらいたいと考えており、例えば、20歳の成人記念同期会時等に登録してもらうことを考えている。過年度については、従来は最大で過去8年分(2万円)まで請求しているが、今後も変えない予定。EACONの機能向上については、EACON上で自分の会費納入状況を調べられるようにする機能向上を検討している。システム改修中であり、2024年の事業年度内には実現予定である。

質問4: 2024年に会員リスト印刷費が計上されている。これはどのようなものか。送料は含んでいるか。

回答(近藤財務部長): 3年に1度会員リストを発行しているので予算に組んでいる。実際に発行するかは執行部で検討する。送料は含んでいない。

質問5: 赤字の決算となっているが、現在の納入率水準で収支均衡の見込みはあるのか。納入率について向上策は。

回答(近藤財務部長): 短期的に同窓会運営に支障をきたす財政水準になるわけではないが、収入に対する支出の水準をどう運営するか次第によることになる。

質問・意見聴取の後、増木議長が第4号議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第4号議案は承認された。

第4号議案 事務局長の選任に関する件

河原会長から、議案書の19ページに沿って、事務局長の選任について説明があった。事務局長候補者は以下の通り。

- 新任 飯野修一 (19期)
- 退任 前山茂雄 (13期)

上記説明を受け、増木議長が第4号議案に関する質問・意見の確認を行ったのち、議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第4号議案は承認された。

第5号議案 栄光学園同窓会会則の改訂に関する件

米山総務部長から、栄光学園同窓会会則の改訂について説明があった。内容は以下の通り。

現 行	改 訂 案
第17条 (委員) 第2項 同期会及び支部の委員の定数は、以下の通りとする。 期委員 2名以上6名以内 支部委員 若干名	第17条 (委員) 第2項 同期会及び支部の委員の定数は、以下の通りとする。 期委員 2名以上 支部委員 若干名
第25条 (会費) 正会員は、会費として年額2,500円を納めるものとする。ただし、同期の全員が75歳に達した次の年度からは、会費の納入を免除する。	第25条 (会費) 正会員は、会費として年額2,500円を納めるものとする。ただし、同期の全員が75歳に達した次の年度からは、会費の納入を免除する。尚、75歳に達しても会員本人の意思があれば、会費納入を受け付ける。

質問6: 75歳より上の年齢でも会費支払意思があれば受け付けるのか。

回答(河原会長): その様に運営する予定である。

質問7: 意思がある場合の納入方法を教えて欲しい。
回答(河原会長): 既に75歳以上の会員にはアラムナイなどの媒体で案内をする。これから75歳に達する会員にはその際にご希望頂ければこのまま口座引き落としを継続する旨の案内をさせていただきます。

質問・意見聴取の後、増木議長が第5号議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第5号議案は承認された。

事務局長挨拶など

議案の審議を終え、今次総会をもって退任する前山事務局長より以下内容の挨拶があった。

11年前に事務局長になって以来、大過なくと言いたいところであるが、正直失敗も多く、多くの方に支えて頂いた。後任の方への引継ぎを希望して何年か経つが、19期の飯野さんという適任者に引き受けて頂くことになった。同窓会が益々発展していくことを祈っている。長きにわたり感謝申し上げます。

飯野新事務局長より以下内容の挨拶があった。

同窓会事務局長という大変な職務を引き受けてしまったという思いであるが、二つ考えている。一つは事務局の業務は多く、これを引き継ぐことは大変であるということでプレッシャーを感じている。もう一つは栄光教員の生活が長かったので、同窓会や卒業生の目線と自分の感覚がずれているかもしれないということ。一方で、違う視点があるからこそ役に立てることもあると思うので、両方の視点を活かしていきたい。これからよろしく願いたい。

10. 閉会の辞
新たに会員になった72期奥井さんが閉会の辞を述べ、2024年度栄光学園同窓会定期総会は滞りなく終了した。

以上



第7回 オール栄光ゴルフコンペ

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>同窓会事業



令和6年8月25日(日)よみうりゴルフ倶楽部でオール栄光ゴルフコンペが開催された。ここ数年8月の最終日曜日に行われる栄光同窓会の恒例行事となっており、日曜日に大規模コンペが開催できるコースという事でこのゴルフコースが使われている。

参加者は最年長の20期から最若手の64期まで、年齢的にも20歳代から70歳代まで、退職された先生2名を含めて総勢96名の大会となった。心配していた猛暑もいくぶん峠を過ぎ、風もあって全員無事にプレーを終了できた。

成績は個人戦だけではなく、各期の上位4名のスコアを合計した団体戦でも競われた。

主な成績は以下の通りである。()内の数字は期。

◎個人戦(新ペリア方式によるハンデ付きのネット)、

- 1位 宅間(64) ネット70.4
- 2位 小島(20) ネット70.6
- 3位 村上(39) ネット71.6

優勝は初参加で最年少の64期、宅間氏であった。

◎個人戦(グロス:実力No1を競う)

- 1位 崎山(23) スコア72
- 2位 大槻(31) スコア78
- 3位 小島(20) スコア79

オール栄光ゴルフ実力No1は23期の崎山氏、前半は2アンダー、トータルでパープレーという断トツの成績であった。

◎団体戦(4人以上の参加の期の上位4人のネット平均スコア)

- 1位 27期 平均73.2
- 2位 39期 平均73.6
- 3位 20期 平均74.3

団体優勝は期別参加者数が18名と最大の27期であった。27期は来年の第8回コンペの主幹事を務めることになる。ゴルフは年齢を超えて広く楽しめるスポーツであり、来年も今年と同様に、また更に参加の期を増やして盛大に開催していきたい。

第7回大会主幹事 小島(20期)



団体優勝の27期 ▲

歴史・文学散歩

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>歴史・文学散歩

橋本宿と相模原北公園 24.5.14

令和6年5月14日、恒例のOB会歴史文学散歩を実施しました。朝10時にJR橋本駅南口に集合メンバーは15人がそろいました、懐かしい顔が揃ったところで当会の創始者で会って毎回コースを計画して下さっていた三春勝正さん(6期)のご冥福を黙とうして出発しました。橋本駅南口周辺はリニア新幹線神奈川駅(仮称)の開発で活き盛んです。でも湘南に育った私達には馴染みが無い一帯です。

三春さんが遺して下さった原稿を読むと橋本駅周辺には江戸時代の「大山街道の宿場町」の側面があって、明治維新後は「絹織物産業都市」昭和前半は「軍需都市」の側面があって現在の「JAXA相模原キャンパス」の基礎が一部に残されているのでした。橋本駅から「香福寺/建長寺末寺」を経て長屋門が並ぶ(神奈川県街並み百撰)を経て橋本宿で一服して。途中境川を渡って、瑞光寺(曹洞宗寺子屋が在った)を歩きましたこの間は大山街道と明治の絹産業で繁栄した橋本を実感出来ました、随所に「秋葉大権現」や「大山講供養塚」を観て午前中の最後が相原高校跡地です。現在は地下2階まで工事は完了しているものの地上部分は計画未定で工事未着手の様でした。新任の静岡県知事も「リニア新幹線」に協力する方針を明確にしているので地上部の計画が確定すれば相模原市は一段と熱気を集める事でしょう。

橋本駅南口で弁当を求めてバスに乗って「相模原北公園」にむかいました。相模川の河岸段丘を活用した多目的公園は西に丹

沢の山脈が開けて薔薇の花壇が素敵な公園でした。私の歩数計は1漫歩を越えて楽しくも健康的な一日を過ごせました

竹内正敏(13期)



OBゼミ 34期・44期

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>同窓会事業

放課後ゼミはOBも聴講可能です

OBゼミは栄光学園の高1ゼミの一つの選択授業として実施されています。今年度は34期と44期が担当で、それぞれの期で十数コマを提供しています。

ただ、それだと「高1しか聴講できない」ということで、全学年が参加可能な放課後ゼミとして講師の方にはもう一コマを担当していた

だいております。その放課後の部については、各期の幹事にご連絡いただければ、OBの方も聴講可能な場合があります。同窓会公式Facebookでは講義予定日等がわかり次第、講義タイトルと担当者を告知させていただいております。水曜日の夕方にはなりますが、ご興味ある方は是非。 同窓会事業部

実施済みの講義

欲しい未来は自分で創る！MYパーソバスから始めるキャリアデザイン
富岡洋平(44期) (株)THINK AND DIALOGUE

「官僚」という仕事
猪口隼人(44期) 農林水産省

目指せ！求められる外科医
鈴木研裕(44期) 聖路加国際病院

気候危機、脱炭素、環境省の仕事
井上直己(44期) 環境省

海外起業という選択肢 ～自由な生き方を求めて～
安藤理智(44期) Sol & Luna Co., Ltd., 等

とある半導体エンジニアのお仕事
田中英夫(44期) ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)

損害保険って何？～保険を通じた社会貢献とグローバルビジネスのご紹介～
西脇義晴(44期) 東京海上日動火災保険(株)

栄光学園創立80周年事業 事業へのご支援のお願い

同窓会会員の皆さま、日ごろより、学園の活動にご理解とご協力、ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。栄光学園校長の柳下です。

さて本学園は、2027年4月に創立80周年を迎えることとなります。学園はこの創立80周年を機に記念事業として「栄光学園創立80周年事業」を企画し、さらなる教育環境の充実による飛躍を目指すことといたしました。

創立70周年では、多くの皆さまからの多大なるご支援をいただき、おかげさまで素晴らしい「新校舎」となり、日々皆さまの後輩たちはのびのびと充実した学園生活を送っております。しかしながら、70周年の際には事業費の高騰などで整備等に至らなかった大講堂や体育館については、未だ抜本的な整備を進めることが出来ていない状況です。

このため、学園創立80周年事業においては、田浦から大船に移転して以来、築60余年の大講堂を大規模リノベーションするとともに、大講堂、第1体育館、第2体育館、聖堂棟の空調設備の新設・更新などを行います。いずれも、学園の教育活動、イエズス会教育の実践には欠かすことのできない、豊かな学園生活を支えるための重要な施設です。大講堂の椅子を始めとする老朽内装設備の大規模更新や、近年の酷暑に対応するための冷房装置の新設・更新については、至急の対応が必須と考えております。なお、建物は構造的には健全で十分な耐震性能も有しており、外装補修・防水塗装など必要な維持管理も対応済みです。

つきましては、資金の一部を広く皆さまからご支援いただくため、2024年10月から未来EiKO募金の一環として80周年事業募金を行うことといたしました。80周年事業の趣意に是非ともご賛同いただき、事業推進、事業費確保のため、未来EiKO募金への皆さまの特段のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。なお、当該募金ご協力への感謝として、事業完了後の施設でのイベント(コンサート等)へのご招待なども検討しておりますことを申し添えます。

栄光学園中学高等学校 校長 柳下修

【80周年事業アウトライン】

- 事業名： 栄光学園創立80周年事業
- 事業内容： 大講堂大規模リノベーション、大講堂、第1体育館、第2体育館、聖堂棟の空調設備新設・更新、その他教育施設整備
- 事業費： 8～10億円(想定)
- 目標寄付額： 3億円
- 事業期間： 2024年10月から2028年3月末まで

(詳細は今後随時、80周年事業特設ページ、未来EiKO募金特設ページ等でお知らせします)
※この募金を推進するため、同窓会、栄光会、後援会の皆さまへのご理解を進め、多くのご支援、ご協力をいただけますように、「80周年事業募金委員会」を同窓会、栄光会、後援会にご協力いただき4者で立ち上げさせていただきました。

栄光ヒミツキチとは

栄光生が記事を書き、栄光生が編集し、栄光生が読めるオンラインマガジンです。「栄光生を縦にも横にも繋げまくる」をモットーに、栄光生の経験や思いを気軽に発信し、栄光生が知らない世界を手軽に知ることができる媒体を目指します。週に一度は何かしらの記事が更新されます。 ※栄光生は栄光OB+現役生の総称



24.5.11-12 ~先輩に訊く栄光生の未来~ 卒業生はどう生きるか

今年も栄光ヒミツキチでは、5月に開催された栄光祭においてOBの部屋の一角をお借りし、「卒業生はどう生きるか～先輩に訊く栄光生の未来～@第77回栄光祭 OBの部屋」を2日間にわたり開催しました。

この企画は2日間で5つのテーマを設定し、それぞれのテーマに合ったOBの方をお呼びし、30分～1時間のパネルディスカッションを行うというものです。今年は生放送を行わなかった代わりに、対面会場で開催された模様を収録し、後日動画として栄光ヒミツキチウェブマガジン「栄光ヒミツキチ通信」に掲載しました。

各回のテーマは、「医師」「起業」「海外勤務」「学生×スポーツ」「デザイナー」。各回2名(デザイナーのみ1名)、30期から71期まで計9名のOBの方にご登壇いただきました。登壇者へのお声かけは同窓会執行委員の皆様にもご協力いただき、急なお声かけにも関わらず、アツイトークが繰り広げられました。会場で企画を見てくださった方々はもちろんのこと、後日動画を視聴してくださった方々からも多くの反応を頂戴しました。

パネルディスカッションに参加していただいたOBの皆様、ならびに登壇者選定や会場運営にお力添えをしてくださった同窓会執行委員の皆様感謝申し上げます。

当日の様子は栄光ヒミツキチのウェブマガジン「栄光ヒミツキチ通信」の「イベント・活動報告」より全編ご覧いただけます(ご視聴には栄光ヒミツキチへの登録が必要です。ページ上部のQRコードよりご登録ください)



【協力者、募集中！】

栄光ヒミツキチは、書いてみたいことがある方や記事の編集に携わってみたい方を大募集中！もちろん事前知識・スキルなどは一切不要。ご興味ありましたらeikogakuen.univ@gmail.com ご連絡ください！

栄光ヒミツキチRadio@YouTube

毎月1回土曜21時から放送中！

#69 第77回栄光祭実行委員に聞く10の質問

…第77回栄光祭実行委員長と機材部門長を直撃！

#70 What is HARIBOW??

…BRITAIN'S GOT TALENTで決勝進出&史上初の観客によるゴールドエンブザー、HARIBOWって何者？

特派員レポート

武、鉄道を動かしてみる

…今年から社会人になった運営の武。

どうやら鉄道を動かしているようで…

栄光生の自由発信場(実名編)

黒木宏の雑談場(24期 黒木宏さん)

#6 執刀医は中1同級生

…早くも第6弾。手術の担当医がまさかの栄光同期…!!

大学オープンキャンパス

#5 北海道大学法学部(69期 新島勇紀さん)

…北海道ならではの授業や課外活動話が盛りだくさん！



#6 九州大学工学部(69期 那須田凌央さん)

…旧帝大とは思えない綺麗すぎるキャンパスと

そのキャンパスライフ！



Information

訃報 2024年3月1日～8月31日判明分

卒業生

嶋崎 圭典氏 (6期)	2022年 12月18日
伊藤 信明氏 (21期)	2023年 12月14日
小島 明夫氏 (1期)	2023年 12月19日
古郡 清氏 (6期)	2024年 2月11日
大西 繁氏 (25期)	2024年 3月 3日
高橋 忍氏 (27期)	2024年 3月 6日
中島 拓氏 (26期)	2024年 3月10日
出崎 修氏 (23期)	2024年 3月20日
江藤 一美氏 (9期)	2024年 3月21日
塚田 達徳氏 (6期)	2024年 3月22日
塩田 和人氏 (20期)	2024年 4月16日
芦川 栄之氏 (7期)	2024年 4月18日
佐藤 晴美氏 (3期)	2024年 4月29日
奥洞 靖彦氏 (13期)	2024年 5月11日
松尾 一郎氏 (30期)	2024年 5月11日
阿久澤宏一郎氏 (10期)	2024年 5月19日
阿部 正弘氏 (9期)	2024年 7月 4日
伊藤 健氏 (25期)	2024年 7月11日
齋藤 欣二氏 (6期)	2024年 7月14日
藤原 弘明氏 (28期)	2024年 7月29日
青山 尚徳氏 (12期)	2024年 8月 6日
清水 隆之氏 (3期)	2024年 8月22日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

沖喜英雄先生追悼ミサ 11月4日

コロナ禍中の2022年に、沖喜英雄先生がお亡くなりになりました。先生を偲んで、2024年11月4日14時より学園聖堂にて、モーツァルトのレクイエムを用いたミサを実施します。ミサの司式は、今年度から学園チャプレンになられた菅原裕二神父に行っていただく予定です。どうぞご来場ください。

沖喜先生追悼演奏会の開催を企画中

追悼ミサでのレクイエムを演奏する栄光メサイアソサイエティ(以下、EMS)では、2025年秋以降にモーツァルトのレクイエムを主とした沖喜先生追悼演奏会を鎌倉芸術館で開催することを企画しています。

EMSのルーツは沖喜英雄先生が指導されていた「お母さんコーラス」です。これまでも、栄光フィルとの共演をはじめ、学園50周年演奏会、同窓会50周年演奏会でも歌声を披露してまいりました。現在は、吉田秀文先生(1993～2001年在職)ご指導の下、毎年一度のメサイアコンサートなどの活動を続けております。この度の演奏会の開催に合わせて、新規メンバーも募集する予定です。企画が固まっていきましたら、本誌、同窓会HP,EACONなどを通して改めてお知らせいたします。

栄光メサイアソサイエティ代表 森田真(29期)

次号(第103号)

2025年4月発行予定。

投稿歓迎(同窓会HP、Alumni)

同期会や支部のイベント報告、個人の体験記などの投稿を歓迎します。標準サイズは文章1,200文字程度+画像1～2枚。同窓会事務局宛てメール(または封書)でお送りください。

記事によっては、同窓会HPのみ、Alumniのみの掲載となることあること、また、掲載にあたって文言などが編集されることがあることを、ご承知おきください。

同期会開催・支部活動のサポートします！

「同期の連絡先を知りたい!」「イベントの告知を同窓生にしたい!」こんなとき、同窓会事務局がお手伝い致します。

卒業後10、25、50年目に該当する節目の同期会の開催には最大10万円の補助金をサポートの制度があります(※条件あり)。節目の開催がコロナ下で延期となってしまった場合は、サポート対象になることがあります。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

会費納入の案内届いていませんか？

同窓会の会費の納入にあたり、銀行振り込みを利用される場合には、下記をお願いします。

【振込先】

横浜銀行 大船支店 普通 0268077 エイコウカクエントウソウカイ

【振込人名】

会員番号 氏名 (例:012345 エイコウタロウ)

会員番号は 本誌送付の宛名面をご確認ください。尚、同窓会事務局としましては、同窓会事務手続きなどの効率化のため、会費の納入には【口座振替】を推奨しております。「口座振替の手続を行っていただいた場合は、過去の未納分の請求は行いません」キャンペーン実施中です。この機に、是非ご検討ください。

編集後記

先日、実業界で高名な方とお話をする機会がありました。二回りほど年配の方と、歩きながらお話ししているときに、「時に、Mさんはどちらの高校のご出身ですか?」と聞かれました。「え?栄光学園という高校です」と答えたところ、「それは優秀だな」と言われました。真意のほどはともかくとして、諸先輩方、あるいは後輩の皆さんの好印象の貯金を少し使わせていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。 広報部 M(37期)

全てのお問い合わせ先

栄光学園同窓会事務局

〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1

Tel/Fax: 0467-44-8875

e-mail: admin@eikoalumni.org